

Hitachi Command Suite

Compute Systems Manager

REST API リファレンスガイド

3021-9-101

対象製品

Hitachi Compute Systems Manager 8.4.1

適用 OS の詳細については「ソフトウェア添付資料」でご確認ください。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

HITACHI, BladeSymphony は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

RSA および BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SUSE は、米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

Hitachi Compute Systems Manager には、日本電気株式会社が著作権を有している部分が含まれています。

Hitachi Compute Systems Manager は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE®ソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).


This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

This product includes software developed by Andy Clark.

Java is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

HITACHI
Inspire the Next

 株式会社 日立製作所



発行

2016年5月 3021-9-101

著作権

All Rights Reserved. Copyright© 2016, Hitachi, Ltd.

目次

はじめに.....	9
対象読者.....	10
マニュアルの構成.....	10
マイクロソフト製品の表記について.....	11
このマニュアルで使用している記号.....	11
1. Compute Systems Manager の API の概要.....	13
1.1 Compute Systems Manager の API とは.....	14
1.2 Compute Systems Manager の API を使用する前に必要な作業.....	15
1.3 Compute Systems Manager の API で操作できるオブジェクト.....	15
1.4 URI を使用してオブジェクトを特定する.....	16
1.5 サポートする HTTP メソッド.....	17
1.6 セキュリティと認証.....	18
1.7 HTTP ヘッダーの形式.....	18
1.8 HTTP ボディーの形式.....	19
1.9 Compute Systems Manager の API を使って発行できるリクエスト.....	20
1.10 URI リクエストエラーへの応答形式.....	24
2. ブレードサーバ.....	25
2.1 すべてのブレードサーバの情報を取得する.....	26
2.2 特定のブレードサーバの情報を取得する.....	34
2.3 NIC のポート情報を取得する.....	42
2.4 HBA のポート情報を取得する.....	44
2.5 HVM の物理プロセッサの情報を取得する.....	46
2.6 HVM のプロセッサグループの情報を取得する.....	49
2.7 HVM の NIC ポートの情報を取得する.....	50
2.8 HVM の FC ポートの情報を取得する.....	54
2.9 HVM の USB の情報を取得する.....	57
2.10 LPAR の情報を取得する.....	59
2.11 ブレードサーバの電源を ON にする.....	62
2.12 ブレードサーバの電源を OFF にする.....	65
2.13 ブレードサーバの電源をリセットする.....	67

2.14 ブレードサーバの LID を点灯する.....	69
2.15 ブレードサーバの LID を消灯する.....	70
2.16 ブレードサーバの情報を更新する.....	72
3.シャーシ.....	75
3.1 すべてのシャーシの情報を取得する.....	76
3.2 特定のシャーシの情報を取得する.....	78
3.3 シャーシを管理対象から外す.....	81
3.4 シャーシに搭載されたブレードサーバの情報を取得する.....	82
3.5 マネジメントモジュールの情報を取得する.....	91
3.6 スイッチモジュールの情報を取得する.....	94
3.7 ファンモジュールの情報を取得する.....	97
3.8 電源モジュールの情報を取得する.....	98
3.9 マネジメント LAN モジュールの情報を取得する.....	100
3.10 I/O ボードモジュールの情報を取得する.....	102
3.11 シャーシの LID を点灯する.....	105
3.12 シャーシの LID を消灯する.....	106
3.13 シャーシの情報を更新する.....	108
4.LPAR.....	111
4.1 すべての LPAR の情報を取得する.....	112
4.2 特定の LPAR の情報を取得する.....	115
4.3 論理プロセッサの情報を取得する.....	118
4.4 仮想 NIC ポートの情報を取得する.....	120
4.5 占有 NIC ポートの情報を取得する.....	122
4.6 共有 FC ポートの情報を取得する.....	124
4.7 占有 FC ポートの情報を取得する.....	126
4.8 USB の情報を取得する.....	128
5.ホスト.....	131
5.1 すべてのホストの情報を取得する.....	132
5.2 特定のホストの情報を取得する.....	133
5.3 ホストを管理対象から外す.....	135
5.4 CPU の情報を取得する.....	137
5.5 FC ネットワークの情報を取得する.....	138
5.6 ファイルシステムの情報を取得する.....	140
5.7 IP ネットワークの情報を取得する.....	141
5.8 メモリーの情報を取得する.....	143
5.9 BMC 設定情報を取得する.....	144
5.10 OS の情報を取得する.....	146
5.11 PCI スロットの情報を取得する.....	147
5.12 ホストの電源を ON にする.....	149
5.13 OS をシャットダウンしないでホストの電源を OFF にする.....	151

5.14	ホストをレポートする.....	153
5.15	ホストをシャットダウンする.....	156
6.	タスク.....	159
6.1	タスクの情報を取得する.....	160
6.2	特定のタスクの情報を取得する.....	163
6.3	サブタスクの情報を取得する.....	167
7.	認証情報.....	169
7.1	認証情報を取得する.....	170
7.2	認証情報を作成する.....	172
7.3	特定の認証情報を取得する.....	177
7.4	認証情報を編集する.....	179
7.5	認証情報を削除する.....	183
8.	IP アドレス範囲.....	187
8.1	すべての IP アドレス範囲を取得する.....	188
8.2	IP アドレス範囲を作成する.....	190
8.3	特定の IP アドレス範囲を取得する.....	193
8.4	IP アドレス範囲を編集する.....	195
8.5	IP アドレス範囲を削除する.....	198
8.6	リソースを探索する.....	199
9.	ユーザー管理.....	203
9.1	Compute Systems Manager にログインする.....	204
9.2	Compute Systems Manager からログアウトする.....	205
10.	管理対象リソース.....	207
10.1	複数の IP アドレス範囲を使用して管理対象を探索する.....	208
11.	バージョン情報.....	211
11.1	Compute Systems Manager のバージョン情報を取得する.....	212
付録 A	Compute Systems Manager の API の使用例.....	215
A.1	ブレードサーバの一覧を取得する API の使用例.....	216
A.2	ブレードサーバの電源を ON にする API の使用例.....	218
付録 B	このマニュアルの参考情報.....	225
B.1	関連マニュアル.....	226
B.2	このマニュアルでの表記.....	226
B.3	英略語.....	226
B.4	KB (キロバイト) などの単位表記について.....	227



はじめに

このマニュアルは、Hitachi Compute Systems Manager の REST API の使用方法について説明したものです。

以降、このマニュアルでは、Hitachi Compute Systems Manager を Compute Systems Manager と呼びます。また、REST API を API と省略して表記することがあります。

- 対象読者
- マニュアルの構成
- マイクロソフト製品の表記について
- このマニュアルで使用している記号

対象読者

このマニュアルは、次の方を対象としています。

- Compute Systems Manager の REST (Representational State Transfer) API を使用してサーバリソースを操作する方
- 既存の管理システムやアプリケーションに REST API を使用した機能を組み込みたい方

また、次のことについて理解していることを前提としています。

- Compute Systems Manager を使用したサーバの運用および管理に関する知識
- Web サービス, JSON, REST, および HTTP に関する基本的な知識
- ご使用になるプログラミング言語

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

第1章 Compute Systems Manager の API の概要

Compute Systems Manager の API の概要について説明しています。

第2章 ブレードサーバ

ブレードサーバの情報取得・操作に関する API について説明しています。

第3章 シャーシ

シャーシの情報取得・操作に関する API について説明しています。

第4章 LPAR

LPAR の情報取得に関する API について説明しています。

第5章 ホスト

ホストの情報取得に関する API について説明しています。

第6章 タスク

タスクの情報取得に関する API について説明しています。

第7章 認証情報

認証情報の取得・更新に関する API について説明しています。

第8章 IP アドレス範囲

IP アドレス範囲の情報取得・操作に関する API について説明しています。

第9章 ユーザー管理

ユーザーのログインに関する API について説明しています。

第10章 管理対象リソース

管理対象の探索に関する API について説明しています。

第11章 バージョン情報

バージョン情報の取得に関する API について説明しています。

付録 A Compute Systems Manager の API の使用例

Compute Systems Manager の API の使用例として、JavaScript で記述されたサンプルコードについて説明しています。

付録 B このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	製品名
Hyper-V	Microsoft® Hyper-V®
Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Windows	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">• Microsoft® Windows® 7• Windows® 8• Windows® 8.1• Windows® 10• Microsoft® Windows Server® 2008• Microsoft® Windows Server® 2008 R2• Microsoft® Windows Server® 2012• Microsoft® Windows Server® 2012 R2• Microsoft® Windows Vista®

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、次に示す記号を使用しています。

記号	意味と例
< > (山括弧)	可変値であることを示します。

文法の説明では、次に示す記号を使用します。

記号	意味と例
 (ストローク)	複数の項目に対して項目間の区切りを示し、「または」の意味を示します。 (例) 「A B C」は、「A, B, または C」を示します。
{ } (波括弧)	この記号で囲まれている複数の項目の中から、必ず一組の項目を選択します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) 「{A B C}」は、「A, B, または C のどれかを必ず指定する」ことを示します。
[] (角括弧)	この記号で囲まれている項目は、任意に指定できます (省略できます)。 (例)

記号	意味と例
	<p>「[A]」は、「必要に応じて A を指定する」ことを示します（必要でない場合は、A を省略できます）。</p> <p>「[B C]」は、「必要に応じて B, または C を指定する」ことを示します（必要でない場合は、B および C を省略できます）。</p>
<p>…点線 (リーダー)</p>	<p>記述が省略されていることを示します。</p>

Compute Systems Manager の API の概要

この章では、Compute Systems Manager の API の概要について説明します。

Compute Systems Manager が提供する API は、REST (Representational State Transfer) アーキテクチャスタイルに従います。

- 1.1 Compute Systems Manager の API とは
- 1.2 Compute Systems Manager の API を使用する前に必要な作業
- 1.3 Compute Systems Manager の API で操作できるオブジェクト
- 1.4 URI を使用してオブジェクトを特定する
- 1.5 サポートする HTTP メソッド
- 1.6 セキュリティと認証
- 1.7 HTTP ヘッダーの形式
- 1.8 HTTP ボディの形式
- 1.9 Compute Systems Manager の API を使って発行できるリクエスト
- 1.10 URI リクエストエラーへの応答形式

1.1 Compute Systems Manager の API とは

Compute Systems Manager の API を使用すると、ブレードサーバ、シャーシ、LPAR、ホストなどの管理対象リソースの情報取得や変更、操作を実行できます。

Compute Systems Manager の API は、Compute Systems Manager で提供する機能の一部をサポートします。機能ごとの API のサポート状況を次の表に示します。API の機能の詳細については、各 API のトピックを参照してください。

機能	API のサポート状況	説明
Compute Systems Manager のインストールと設定	×	Compute Systems Manager のインストールおよび管理サーバの設定を行います。
リソースの探索	○	管理対象に追加したいリソース群の認証情報および IP アドレス を指定することで、条件に合ったリソースを探索します。また、不要になった管理対象リソースを管理対象から外します。 注 管理対象の追加・除外、リソースの削除は API ではサポートしていません。
管理対象リソースの情報の取得	○	管理対象リソースの情報を取得します。 注 管理対象リソースの情報を CSV ファイルに出力する機能は、API ではサポートしていません。
管理対象リソースの電源管理、ランブ操作	○	管理対象リソースの電源 ON、電源 OFF およびリセットを行います。また、ブレードやシャーシの LID を点灯または消灯させます。
ファームウェアの更新	×	シャーシのマネジメントモジュール、またはブレードのファームウェアを更新します。
アラート管理	×	管理対象リソースから受信したアラートを表示します。また、アラートの状態を変更します。
ライセンス管理	×	Compute Systems Manager のライセンスを登録します。
ユーザーグループ、ユーザーの管理	×	Compute Systems Manager のユーザーアカウントを作成・削除します。 また、ユーザーグループへユーザーを登録および削除します。
リソースグループの管理	×	リソースグループへ管理対象リソースを追加・削除します。また、ユーザーグループにリソースグループとロールを割り当てます。
仮想リソースの管理	○	管理対象サーバ上の LPAR を認識し、HVM と連携して操作します。
性能監視	×	プロセッサ、メモリー、ネットワーク、およびディスクの使用状況を監視します。
電力監視	×	電力キャッピングの設定および電力量の監視を行います。
N+M コールドスタンバイ	×	N+M コールドスタンバイグループの設定、切り替え、および切り戻しを実行します。

機能	APIのサポート状況	説明
デプロイメントマネージャー	×	バックアップしたイメージファイルを使用して、管理対象リソースの環境をほかの管理対象リソースに複製します。また、管理対象リソースのディスクのデータのバックアップとリストアを実行します。

(凡例)

- : サポート
- × : 非サポート

1.2 Compute Systems Manager の API を使用する前に必要な作業

Compute Systems Manager の API を使用する前の確認事項や、完了しておく作業を説明します。

Compute Systems Manager の API は、Compute Systems Manager をインストールすれば使用できます。API の使用を開始する前に、次の作業を実施してください。

- 管理サーバへのアクセス確認
Web ブラウザーから、Compute Systems Manager をインストールしたマシン（管理サーバ）にアクセスしてログインできることを確認してください。
- ユーザーおよびユーザーグループの作成、ならびにロールの割り当て（必要に応じて）
Compute Systems Manager の GUI でユーザーアカウントとユーザーグループを作成してください。また、ユーザーが属するユーザーグループに、API で操作する管理対象リソースが属するリソースグループと必要なロールを割り当ててください。必要なロールについては、各 API のトピックを参照してください。

Compute Systems Manager のインストールおよび環境設定については、マニュアル「*Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド*」を参照してください。ユーザーアカウントやユーザーグループの作成、ロールの割り当てについては、マニュアル「*Hitachi Command Suite Compute Systems Manager ユーザーズガイド*」を参照してください。

1.3 Compute Systems Manager の API で操作できるオブジェクト

Compute Systems Manager の API を使って操作できるオブジェクトの一覧を次に示します。

オブジェクトタイプ	ドメイン	説明
Blades	objects	ブレードサーバを対象にしたオブジェクトの情報を取得・管理します。
Chassis	objects	シャーシを対象にしたオブジェクトの情報を取得・管理します。
Lpars	objects	LPAR を対象にしたオブジェクトの情報を取得します。
Hosts	objects	ホストを対象にしたオブジェクトの情報を取得・管理します。
Tasks	objects	タスクを対象にしたオブジェクトの情報を取得・管理します。

オブジェクトタイプ	ドメイン	説明
Credentials	objects	認証情報を対象にしたオブジェクトの情報を取得・管理します。
IPAddressRanges	objects	IP アドレス範囲を対象にしたオブジェクトの情報を取得・管理します。
User	services	Compute Systems Manager にログインします。または、Compute Systems Manager からログアウトします。
ManagedResource	services	管理対象を探索し、管理対象リソースとして登録します。
-	version	Compute Systems Manager のバージョン情報を取得します。

1.4 URI を使用してオブジェクトを特定する

Compute Systems Manager の API では、操作対象のオブジェクトを URI を使用して特定します。

URI の形式

```
<protocol >://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/<version >/<domain >/<object-type >[/<instanceID >/collections/<collection >]]
```

または

```
<protocol >://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/<version >/<domain >/<object-type >[/<instanceID >/actions/<actionID >]]
```

- `<protocol >`には、http（非 SSL 通信の場合）または https（SSL 通信の場合）を指定します。
- `<host >`には、管理サーバの IP アドレスまたはホスト名 を指定します。
- `<port >`には、管理サーバのポート番号を指定します。デフォルトのポート番号は 22015（非 SSL 通信の場合）または 22016（SSL 通信の場合）です。
- `ComputeSystemsManager` は Compute Systems Manager の API を表す固定値です。
- `<version >`には、Compute Systems Manager の API のバージョンを指定します。指定できる値は `v1` です。
- `<domain >`には、操作対象のオブジェクトが属するドメインを指定します。指定できる値は `objects`, `services`, または `version` です。
- `<object-type >`には、操作対象のオブジェクトのオブジェクトタイプを指定します。`<domain >`に `version` を指定する場合、この項目は指定不要です。
- `<instanceID >`は、操作対象のオブジェクトの識別子です。URI に含まれない文字をエスケープするため、エンコードされた値を指定します。エンコードの形式やプレフィクスの規則については各 API のトピックの `instanceID` の説明を参照してください。`<domain >`に `services` または `version` を指定する場合、この項目は指定不要です。
- `<collection >`には、オブジェクトの集合を指定します。
- `<action ID >`には、`<instanceID >`で指定したオブジェクトに対する操作を指定します。

指定例

base64url でエンコードされた instanceID を使用してブレードサーバを指定する URI の例を次に示します。

```
https://172.17.35.70:22016/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/SGl0YWN0aV8wXzAwMTIzNDU_Nzg-QUJDREVGR0hJSktMTU5PUA==
```

1.5 サポートする HTTP メソッド

HTTP では、オブジェクトに対して実行できる操作がメソッドとして定義されています。

Compute Systems Manager の API がサポートする HTTP メソッドを次に示します。

HTTP メソッド	説明
GET	オブジェクトの一覧や情報を取得します。
POST	オブジェクトを新規に作成してコレクションに追加します (例: 認証情報の作成)。 次の場合、リクエストボディでオブジェクトの属性に必要な値を設定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none">オブジェクトの属性にデフォルト値が設定されていない場合オブジェクトの属性にデフォルト値が設定されている場合で、値をデフォルト値から変更したいとき
PUT	オブジェクトの属性を変更します。 変更する属性の値はリクエストボディで指定します。指定を省略した場合、デフォルト値、またはすでに設定されている値が引き継がれて設定されます。詳しくは各 API のトピックを参照してください。
DELETE	オブジェクトを削除します。

非同期処理の API とタスクの状態確認について

GET, POST, および DELETE の処理は同期的に実行されます。PUT の処理は、API によっては非同期に実行されます。非同期処理の API の場合、処理対象のオブジェクトとは別に、非同期タスクが自動で生成されます。非同期タスクの終了を通知するイベントは発生しないため、次のとおり、タスクの状態をポーリングして確認する必要があります。

1. 管理サーバに対して PUT メソッドを発行します。
同期処理の API の場合、処理の実行結果がレスポンスとして返却されます。
非同期処理の API の場合、非同期タスクの生成の成否とタスク ID がレスポンスとして返却されます。次の手順を実施してください。
2. 手順 1 で生成されたタスクのタスク ID を使用して、タスクの情報を取得するための GET メソッドを発行します。
3. 取得したタスクの状態が Canceled, Completed, Skipped または Failed になるまで手順 2 を定期的に行います。

1.6 セキュリティと認証

API を実行するには、ユーザー認証が必要です。Compute Systems Manager は、Basic 認証および HSSO セッション ID による認証をサポートします。

通信プロトコルは http と https をサポートします。セキュリティを向上する場合は https を使用してください。

Basic 認証

Basic 認証を使用する場合、HTTP リクエストの Authorization ヘッダーに次の形式でユーザー ID とパスワードを設定します。

```
Authorization: Basic <base64-id-password >
```

<base64-id-password >には、ユーザー ID とパスワードを半角コロン(:)でつないだ文字列を base64 でエンコードして設定します。

HSSO セッション ID による認証

HSSO セッション ID による認証は、シングルサインオンに必要な認証方式です。HSSO セッション ID は、Basic 認証を使用して管理サーバにログインすると発行されます。ログイン用の API を実行すると、次のとおり、HTTP レスポンスヘッダーとして HSSO セッション ID が返却されます。

```
WWW-Authenticate: HSSO <セッション ID >
```

発行された HSSO セッション ID はクライアントのプログラムで変数に保存してください。

ログインした後に発行するリクエストでは、HTTP クエストの Authorization ヘッダーに次の形式で HSSO セッション ID を設定します。

```
Authorization: HSSO <セッション ID >
```

HSSO セッションの有効期限と期限の更新

HSSO セッション ID の有効期限は 1,000 秒です。期限が切れる前に同じセッション ID を使用してリクエストを発行すると、期限は更新されます。期限が切れた場合、管理サーバはセッション情報を破棄します。以降、同じセッション ID を使用してリクエストを発行してもエラー (HTTP ステータスコード: 401, 結果コード: 1002) が返ります。セッションを再度確立するには、ログイン用の API を実行してください。

HSSO セッション ID の期限が切れる前に同じクライアントから別のセッションを確立してセッションを更新することもできますが、この方法は推奨しません。セッションが有効な間は同じ HSSO セッション ID を使用し、API のリクエストが期限切れのエラーになった場合だけ新たな HSSO セッション ID の発行を要求するようにしてください。

1.7 HTTP ヘッダーの形式

リクエストとレスポンスの送受信時に使用する HTTP ヘッダーについて説明します。

Compute Systems Manager の API がサポートする HTTP ヘッダーを次に示します。

HTTP リクエストヘッダー

HTTP ヘッダー	指定できる値	説明
Accept	application/json	Compute Systems Manager の API でサポートするデータ形式は JSON だけです。
Content-Type	application/json; charset=UTF-8	Compute Systems Manager の API でサポートするデータ形式は JSON だけです。使用できる文字コードは UTF-8 だけです。
Authorization	Basic 認証の場合： Basic <base64-id-password > HSSO セッション認証の場合： HSSO <セッションID >	ログイン用の API では Basic 認証だけを使用できません。 ログアウト用の API では HSSO セッション認証だけを使用できます。

HTTP レスポンスヘッダー

HTTP ヘッダー	出力される値	説明
Content-Type	application/json; charset=UTF-8	Compute Systems Manager の API でサポートするデータ形式は JSON だけです。レスポンスボディにデータがない場合、このヘッダーは出力されません。
WWW-Authenticate	HSSO <セッションID >	このヘッダーは、ログイン用の API のレスポンスだけに含まれます。

1.8 HTTP ボディの形式

リクエストとレスポンスの送受信時に使用する HTTP ボディについて説明します。

HTTP ボディは、JSON の形式で送受信されます。POST メソッドや PUT メソッドを発行してオブジェクトを作成・変更する際は、JSON の形式でオブジェクトの属性を指定してください。また、GET メソッド、POST メソッド、PUT メソッドおよび DELETE メソッドを発行した結果のレスポンスも JSON の形式で返却されます。

レスポンスはすべて UTF-8 でエンコードされます。また、リクエストもすべて UTF-8 でエンコードされている必要があります。入出力データのフォーマットの詳細については、各 API のトピックを参照してください。



メモ

入力データの JSON のオブジェクト内に同じ名称の属性が重複する場合、最後に指定した項目が使用され、重複したほかの項目は無視されます。

1.9 Compute Systems Manager の API を使って発行できるリクエスト

Compute Systems Manager の API を使って発行できるリクエストの一覧をオブジェクトごとに示します。

Blades

リクエスト	メソッド	URI	ロール
すべてのブレードサーバの情報を取得する	GET	/objects/Blades	Admin/ Modify/View
特定のブレードサーバの情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >	Admin/ Modify/View
NIC のポート情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/ Nicport	Admin/ Modify/View
HBA のポート情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/ Hbaport	Admin/ Modify/View
HVM の物理プロセッサの情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/ LpPhysicalcpu	Admin/ Modify/View
HVM のプロセッサグループの情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/ LpCpugroup	Admin/ Modify/View
HVM の NIC ポートの情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/ LpNicport	Admin/ Modify/View
HVM の FC ポートの情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/ LpFcport	Admin/ Modify/View
HVM の USB の情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/LpUsb	Admin/ Modify/View
LPAR の情報を取得する	GET	/objects/Blades/<instanceID >/collections/Lpar	Admin/ Modify/View
ブレードサーバの電源を ON にする	PUT	/objects/Blades/<instanceID >/actions/Poweron/ invoke	Admin/ Modify
ブレードサーバの電源を OFF にする	PUT	/objects/Blades/<instanceID >/actions/Poweroff/ invoke	Admin/ Modify
ブレードサーバの電源をリセットする	PUT	/objects/Blades/<instanceID >/actions/Reset/ invoke	Admin/ Modify
ブレードサーバの LID を点灯する	PUT	/objects/Blades/<instanceID >/actions/Lidon/ invoke	Admin/ Modify
ブレードサーバの LID を消灯する	PUT	/objects/Blades/<instanceID >/actions/Lidoff/ invoke	Admin/ Modify
ブレードサーバの情報を更新する	PUT	/objects/Blades/<instanceID >/actions/Refresh/ invoke	Admin/ Modify

Chassis

リクエスト	メソッド	URI	ロール
すべてのシャーシの情報を取得する	GET	/objects/Chassis	Admin/ Modify/View
特定のシャーシの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >	Admin/ Modify/View
シャーシを管理対象から外す	DELETE	/objects/Chassis/<instanceID >	All- Resources- Admin
シャーシに搭載されたブレードサーバの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >/collections/Blade	Admin/ Modify/View
マネジメントモジュールの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >/collections/ Managementmodule	Admin/ Modify/View
スイッチモジュールの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >/collections/ Switchmodule	Admin/ Modify/View
ファンモジュールの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >/collections/ Fanmodule	Admin/ Modify/View
電源モジュールの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >/collections/ Powersupplymodule	Admin/ Modify/View
マネジメント LAN モジュールの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >/collections/ Managementlanmodule	Admin/ Modify/View
I/O ボードモジュールの情報を取得する	GET	/objects/Chassis/<instanceID >/collections/ Iobdmodules	Admin/ Modify/View
シャーシの LID を点灯する	PUT	/objects/Chassis/<instanceID >/actions/Lidon/ invoke	Admin/ Modify
シャーシの LID を消灯する	PUT	/objects/Chassis/<instanceID >/actions/Lidoff/ invoke	Admin/ Modify
シャーシの情報を更新する	PUT	/objects/Chassis/<instanceID >/actions/Refresh/ invoke	Admin/ Modify

Lpars

リクエスト	メソッド	URI	ロール
すべての LPAR の情報を取得する	GET	/objects/Lpars	Admin/ Modify/View
特定の LPAR の情報を取得する	GET	/objects/Lpars/<instanceID >	Admin/ Modify/View
論理プロセッサの情報を取得する	GET	/objects/Lpars/<instanceID >/collections/ Logicalcpu	Admin/ Modify/View
仮想 NIC ポートの情報を取得する	GET	/objects/Lpars/<instanceID >/collections/ Virtualnicport	Admin/ Modify/View
占有 NIC ポートの情報を取得する	GET	/objects/Lpars/<instanceID >/collections/ Dedicatednicport	Admin/ Modify/View
共有 FC ポートの情報を取得する	GET	/objects/Lpars/<instanceID >/collections/ Sharedfcport	Admin/ Modify/View

リクエスト	メソッド	URI	ロール
占有 FC ポートの情報を取得する	GET	/objects/Lpars/<instanceID>/collections/Dedicatedfcport	Admin/Modify/View
USB の情報を取得する	GET	/objects/Lpars/<instanceID>/collections/Usb	Admin/Modify/View

Hosts

リクエスト	メソッド	URI	ロール
すべてのホストの情報を取得する	GET	/objects/Hosts	Admin/Modify/View
特定のホストの情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>	Admin/Modify/View
ホストを管理対象から外す	DELETE	/objects/Hosts/<instanceID>	All-Resources-Admin
CPU の情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Cpu	Admin/Modify/View
FC ネットワークの情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Fcnetwork	Admin/Modify/View
ファイルシステムの情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Filesystem	Admin/Modify/View
IP ネットワークの情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Ipnetwork	Admin/Modify/View
メモリーの情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Memory	Admin/Modify/View
BMC 設定情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Miscdevice	Admin/Modify/View
OS の情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Os	Admin/Modify/View
PCI スロットの情報を取得する	GET	/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Pcislot	Admin/Modify/View
ホストの電源を ON にする	PUT	/objects/Hosts/<instanceID>/actions/Poweron/invoke	Admin/Modify
OS をシャットダウンしないでホストの電源を OFF にする	PUT	/objects/Hosts/<instanceID>/actions/Poweroff/invoke	Admin/Modify
ホストをリブートする	PUT	/objects/Hosts/<instanceID>/actions/Reboot/invoke	Admin/Modify
ホストをシャットダウンする	PUT	/objects/Hosts/<instanceID>/actions/Shutdown/invoke	Admin/Modify

Tasks

リクエスト	メソッド	URI	ロール
タスクの情報を取得する	GET	/objects/Tasks	Admin/Modify/View

リクエスト	メソッド	URI	ロール
特定のタスクの情報を取得する	GET	/objects/Tasks/< taskID >	Admin/ Modify/View
サブタスクの情報を取得する	GET	/objects/Tasks/< taskID >/collections/Subtask	Admin/ Modify/View

Credentials

リクエスト	メソッド	URI	ロール
認証情報を取得する	GET	/objects/Credentials	All- Resources- Admin
認証情報を作成する	POST	/objects/Credentials	All- Resources- Admin
特定の認証情報を取得する	GET	/objects/Credentials/< instanceID >	All- Resources- Admin
認証情報を編集する	PUT	/objects/Credentials/< instanceID >	All- Resources- Admin
認証情報を削除する	DELETE	/objects/Credentials/< instanceID >	All- Resources- Admin

IPAddressRanges

リクエスト	メソッド	URI	ロール
すべての IP アドレス範囲を取得する	GET	/objects/IPAddressRanges	All- Resources- Admin
IP アドレス範囲を作成する	POST	/objects/IPAddressRanges	All- Resources- Admin
特定の IP アドレス範囲を取得する	GET	/objects/IPAddressRanges/< instanceID >	All- Resources- Admin
IP アドレス範囲を編集する	PUT	/objects/IPAddressRanges/< instanceID >	All- Resources- Admin
IP アドレス範囲を削除する	DELETE	/objects/IPAddressRanges/< instanceID >	All- Resources- Admin
リソースを探索する	PUT	/objects/IPAddressRanges/< instanceID >/actions/ Discovery/invoke	All- Resources- Admin

User

リクエスト	メソッド	URI	ロール
Compute Systems Manager にログインする	GET	/services/User/actions/login/invoke	Admin/ Modify/View/ User- Management
Compute Systems Manager からログアウトする	GET	/services/User/actions/logout/invoke	Admin/ Modify/View/ User- Management

ManagedResource

リクエスト	メソッド	URI	ロール
複数の IP アドレス範囲を使用して管理対象を探索する	PUT	/services/ManagedResource/actions/Discovery/ invoke	All- Resources- Admin

version

リクエスト	メソッド	URI	ロール
Compute Systems Manager のバージョン情報を取得する	GET	/version	Admin/ Modify/View/ User- Management

1.10 URI リクエストエラーへの応答形式

API のリクエストがエラーになった場合の出力形式について説明します。

リクエストの結果は、HTTP レスポンスヘッダーに HTTP ステータスコードとして返却されます。リクエストがエラーとなった場合は、レスポンスボディに次のエラー情報が返却されます。エラーコードの詳細については、各 API のトピックを参照してください。

エラー時の出力項目	内容
message	エラーメッセージ
resultCode	エラーの結果コード
detailCode	エラーの詳細コード

ブレードサーバ

この章では、ブレードサーバの情報取得・操作に関する API について説明します。

- 2.1 すべてのブレードサーバの情報を取得する
- 2.2 特定のブレードサーバの情報を取得する
- 2.3 NIC のポート情報を取得する
- 2.4 HBA のポート情報を取得する
- 2.5 HVM の物理プロセッサの情報を取得する
- 2.6 HVM のプロセッサグループの情報を取得する
- 2.7 HVM の NIC ポートの情報を取得する
- 2.8 HVM の FC ポートの情報を取得する
- 2.9 HVM の USB の情報を取得する
- 2.10 LPAR の情報を取得する
- 2.11 ブレードサーバの電源を ON にする
- 2.12 ブレードサーバの電源を OFF にする
- 2.13 ブレードサーバの電源をリセットする
- 2.14 ブレードサーバの LID を点灯する
- 2.15 ブレードサーバの LID を消灯する
- 2.16 ブレードサーバの情報を更新する

2.1 すべてのブレードサーバの情報を取得する

API を実行するユーザの権限で参照できるすべてのブレードサーバの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET `http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades`

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Server

```
{
  "Server": [{
    "instanceId": "...",
    "chassisUniqueKey": "...",
    "serverUniqueKey": "...",
    "serverSerialNumber": "...",
    "serverProductName": "...",
    "manufacturer": "...",
    "serverProductNumber": "...",
    "serverUuid": "...",
    "partitionNo": "...",
    "primarySlot": "...",
    "partitionWidth": "...",
    "slotWidth": "...",
    "bladeNumber": "...",
    "slotNumber": "...",
    "partitionValid": "...",
    "healthStatus": "...",
    "maintenanceMode": "...",
    "serverStatus": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": "...",
    "warning": "...",
    "information": "...",
    "cpuName": "...",
    "cpuFrequencyInMHz": "...",
    "numberOfCpus": "...",
    "numberOfCores": "...",
    "cpuCacheSizeInKB": "...",
    "memorySizeInMB": "...",
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "...",
    "lomDhcpEnable": "...",
    "lomIpAddress": "...",
    "lomSubnetMask": "...",
    "lomDefaultGateway": "...",
    "lomIpAddressV6": "...",
    "lomPrefixLengthV6": "...",
    "lomDefaultGatewayV6": "...",
    "currentFWVersion": "...",
    "currentLOMVersion": "...",
    "currentEFIVersion": "...",
    "updatingFWVersion": "...",
```

```

    "updatingLOMVersion": "...",
    "updatingEFIVersion": "...",
    "remoteConsoleUrl": "...",
    "wnwType": "...",
    "macType": "...",
    "osMode": "...",
    "firmwareRestartRequired": "...",
    "nmColdStandby": "...",
    "lpVersion": "...",
    "lpID": "...",
    "lpStatus": "...",
    "lpIpAddress": "...",
    "lpSubnetMask": "...",
    "lpDefaultGateway": "...",
    "lpVNICSystemNo": "...",
    "lpSaveChangedConfig": "...",
    "lpVCPort": "...",
    "lpTimeZone": "...",
    "lpTimeSync": "...",
    "lpNTPServer1": "...",
    "lpNTPServer2": "...",
    "lpPreStateAutoAct": "...",
    "lpAutoShutdown": "...",
    "lpErrWatching": "...",
    "lpPhyCpuState": "...",
    "lpMaxSupportedNumOfLPARs": "...",
    "lpMaxNumOfRunningLPARs": "...",
    "lpAvailableMemoryNode": "...",
    "lpLPARMaxMemorySize": "...",
    "lpLPARMemoryStep": "...",
    "lpGuestNuma": "...",
    "lpPreBootFirmware": "...",
    "lpSolarisBoot": "...",
    "lpGuestIdleMode": "...",
    "lpLowLatency": "...",
    "lpLicenseHana": "...",
    "lpEpt1GB": "...",
    "lpPerformanceTuningOptions": "...",
    "lpMaxNumOfLogicalCpu": ...
  },
  :
  ]
}

```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI でブレードサーバを特定する際に使用する識別子。 serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。
chassisUniqueKey	string	1	ブレードサーバが搭載されているシャーシを特定する識別子。
serverUniqueKey	string	1	ブレードサーバを特定する識別子。
serverSerialNumber	string	1	サーバシリアル番号。ブレードサーバを特定するシリアル番号。
serverProductName	string	1	プロダクト名称。
manufacturer	string	1	メーカー名。
serverProductNumber	string	1	製品番号。
serverUuid	string	1	UUID。
partitionNo	integer	1	ブレードが挿入されているスロット番号。フルワイドブレードの場合は占有するスロットのうち小さい番号。SMP 構成の場合は、プライマリサーバブレードが挿入されているスロット番号。
primarySlot	integer	1	ブレードが挿入されているスロット番号。フルワイドブレードの場合は占有するスロットのうち小さい番号。SMP 構

属性	データ型	数	説明
			成の場合は、プライマリサーバブレードが挿入されているスロット番号。
partitionWidth	integer	1	ブレードサーバを構成するブレードの数。
slotWidth	integer	0~1	シャーシ内のスロットの数。
bladeNumber	string	0~1	ブレード番号。ブレードサーバを構成するブレードのブレード番号がコンマ区切りで列挙されます。
slotNumber	string	0~1	スロット番号。ブレードサーバを構成するブレードが挿入されているすべてのスロット番号がコンマ区切りで列挙されます。
partitionValid	string	1	ブレードサーバが使用できる状態かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：ブレードサーバは使用できます。 FALSE：ブレードサーバは使用できません。
healthStatus	string	1	ブレードサーバの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> NORMAL：正常 WARNING：警告 FAIL：障害 UNKNOWN：不明
maintenanceMode	string	1	ブレードサーバの保守モードの設定。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：保守モードに設定されています。 FALSE：保守モードに設定されていません。
serverStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none"> Running：起動 Stopped：停止。 Unknown：マネジメントモジュールとの通信失敗のため、状態不明。
lastRefreshed	dateTime	1	情報最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
cpuName	string	1	CPU 名称。
cpuFrequencyInMHz	float	1	CPU の動作周波数 (MHz)。
numberOfCpus	integer	1	CPU の数。
numberOfCores	integer	1	CPU ごとのコア数。
cpuCacheSizeInKB	double	1	CPU キャッシュサイズ (KB)。
memorySizeInMB	float	1	メモリーサイズ (MB)。
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> ON OFF BLINKING SLOW_BLINKING FAST_BLINKING UNKNOWN

属性	データ型	数	説明
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> • BLUE • GREEN • RED • ORANGE • UNKNOWN
lomDhcpEnable	string	1	BMC が DHCP を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • TRUE • FALSE
lomIpAddress	string	1	BMC の IP アドレス (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomSubnetMask	string	1	BMC のサブネットマスク (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomDefaultGateway	string	1	BMC のデフォルトゲートウェイの IP アドレス (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomIpAddressV6	string	0~1	BMC の IP アドレス (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomPrefixLengthV6	string	0~1	BMC のプレフィックス長 (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomDefaultGatewayV6	string	0~1	BMC のデフォルトゲートウェイの IP アドレス (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
currentFWVersion	string	1	現在動作中のファームウェアのバージョン。
currentLOMVersion	string	1	現在動作中の BMC のバージョン。
currentEFIVersion	string	1	現在動作中の EFI のバージョン。
updatingFWVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作するファームウェアのバージョン。
updatingLOMVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作する BMC のバージョン。
updatingEFIVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作する EFI のバージョン。
remoteConsoleUrl	string	1	リモートコンソールの URL。
wwnType	string	1	WWN の種類。 <ul style="list-style-type: none"> • Original • Additional • Unknown
macType	string	1	MAC アドレスの種類。 <ul style="list-style-type: none"> • Original • Additional • Unknown
osMode	string	1	動作モード。 <ul style="list-style-type: none"> • Basic • HVM • Unknown

属性	データ型	数	説明
firmwareRestartRequired	string	1	ファームウェアを更新したあと、反映するためにブレードサーバを再起動する必要があるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE: 更新したファームウェアを反映させるために、ブレードサーバを再起動する必要があります。 FALSE: 更新したファームウェアはすでに反映されています。
nmColdStandby	string	0~1	N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE: N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できます。 FALSE: N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できません。
lpVersion	string	0~1	HVM のファームウェアバージョン。
lpID	string	0~1	HVM の識別子。
lpStatus	string	0~1	HVM の状態。 <ul style="list-style-type: none"> Running Stopped Unknown
lpIpAddress	string	0~1	HVM の IP アドレス。
lpSubnetMask	string	0~1	HVM のサブネットマスク。
lpDefaultGateway	string	0~1	HVM のデフォルトゲートウェイ IP アドレス。
lpVNICSystemNo	integer	0~1	HVM の VNIC システム番号。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は'-1'になります。
lpSaveChangedConfig	string	0~1	HVM 起動時の構成情報フォーマットの変換後に、構成情報を自動保存するかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外か、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
lpVCPort	string	0~1	仮想 COM コンソールポートの TCP ポート番号 (1024~65520)。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpTimeZone	string	0~1	HVM システム時刻のタイムゾーン (書式: [+ -]hh:mm)。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpTimeSync	string	0~1	時刻同期の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成

属性	データ型	数	説明
			<p>されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Svp : マネジメントモジュールと時刻同期する • NTP : NTP サーバと時刻同期する • Disable : 時刻同期しない
lpNTPServer1	string	0~1	<p>NTP サーバ 1 の IP アドレス。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>
lpNTPServer2	string	0~1	<p>NTP サーバ 2 の IP アドレス。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>
lpPreStateAutoAct	string	0~1	<p>Pre-State Auto Activation の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpAutoShutdown	string	0~1	<p>HVM 自動シャットダウンの設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpErrWatching	string	0~1	<p>エラー監視の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpPhyCpuState	string	0~1	<p>省電力機能が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpMaxSupportedNumOfLPARs	integer	0~1	<p>作成できる LPAR の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>

属性	データ型	数	説明
lpMaxNumOfRunningLPARs	integer	0～1	同時に動作できる LPAR の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpAvailableMemoryNode	string	0～1	有効なメモリーノード。NUMA 設定が有効な場合、有効なメモリーノードをコンマでつないだ文字列（例：0,2,4,8）。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpLPARMaxMemorySize	float	0～1	LPAR に設定できる最大メモリサイズ
lpLPARMemoryStep	float	0～1	LPAR に設定できるメモリ・ステップサイズ
lpGuestNuma	string	0～1	HVM のゲスト NUMA 設定が有効か無効か。ブレードサーバが Basic モードの場合、またはゲスト NUMA が有効か無効かを識別できない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable : ゲスト NUMA 機能が有効。 • Disable : ゲスト NUMA 機能が無効。
lpPreBootFirmware	string	0～1	Pre-boot ファームウェアとして 64UEFI をサポートしているかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpSolarisBoot	string	0～1	OS タイプが Solaris 設定をサポートしているかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpGuestIdleMode	string	0～1	HVM のゲストアイドルモードの設定が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpLowLatency	string	0～1	HVM の Low Latency 設定が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Disable
lpLicenseHana	string	0~1	<p>HVM の追加ライセンスが有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable Disable
lpEpt1GB	string	0~1	<p>HVM の EPT1GB 機能が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
lpPerformanceTuningOptions	string	0~1	<p>この属性は未サポートのため、値は参照しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
lpMaxNumOfLogicalCpu	integer	0~1	<p>LPAR に設定できる論理 CPU の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

2.2 特定のブレードサーバの情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Server

```
{
  "Server": [{
    "instanceId": "...",
    "chassisUniqueKey": "...",
    "serverUniqueKey": "...",
    "serverSerialNumber": "...",
    "serverProductName": "...",
    "manufacturer": "...",
    "serverProductNumber": "...",
    "serverUuid": "...",
    "partitionNo": ...,
    "primarySlot": ...,
    "partitionWidth": ...,
    "slotWidth": ...,
    "bladeNumber": "...",
    "slotNumber": "...",
    "partitionValid": "...",
    "healthStatus": "...",
    "maintenanceMode": "...",
    "serverStatus": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": ...,
    "warning": ...,
    "information": ...,
    "cpuName": "...",
  ]
}
```

```

"cpuFrequencyInMHz":...,
"numberOfCpus":...,
"numberOfCores":...,
"cpuCacheSizeInKB":...,
"memorySizeInMB":...,
"lidStatus": "...",
"lidColor": "...",
"lomDhcpEnable": "...",
"lomIpAddress": "...",
"lomSubnetMask": "...",
"lomDefaultGateway": "...",
"lomIpAddressV6": "...",
"lomPrefixLengthV6": "...",
"lomDefaultGatewayV6": "...",
"currentFWVersion": "...",
"currentLOMVersion": "...",
"currentEFIVersion": "...",
"updatingFWVersion": "...",
"updatingLOMVersion": "...",
"updatingEFIVersion": "...",
"remoteConsoleUrl": "...",
"wwnType": "...",
"macType": "...",
"osMode": "...",
"firmwareRestartRequired": "...",
"nmColdStandby": "...",
"lpVersion": "...",
"lpID": "...",
"lpStatus": "...",
"lpIpAddress": "...",
"lpSubnetMask": "...",
"lpDefaultGateway": "...",
"lpVNICSystemNo": ...,
"lpSaveChangedConfig": "...",
"lpVCPort": "...",
"lpTimeZone": "...",
"lpTimeSync": "...",
"lpNTPServer1": "...",
"lpNTPServer2": "...",
"lpPreStateAutoAct": "...",
"lpAutoShutdown": "...",
"lpErrWatching": "...",
"lpPhyCpuState": "...",
"lpMaxSupportedNumOfLPARs": ...,
"lpMaxNumOfRunningLPARs": ...,
"lpAvailableMemoryNode": "...",
"lpLPARMaxMemorySize": ...,
"lpLPARMemoryStep": ...,
"lpGuestNuma": "...",
"lpPreBootFirmware": "...",
"lpSolarisBoot": "...",
"lpGuestIdleMode": "...",
"lpLowLatency": "...",
"lpLicenseHana": "...",
"lpEpt1GB": "...",
"lpPerformanceTuningOptions": "...",
"lpMaxNumOfLogicalCpu":...
}}
}

```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI でブレードサーバを特定する際に使用する識別子。 serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。
chassisUniqueKey	string	1	ブレードサーバが搭載されているシャーシを特定する識別子。
serverUniqueKey	string	1	ブレードサーバを特定する識別子。

属性	データ型	数	説明
serverSerialNumber	string	1	サーバシリアル番号。ブレードサーバを特定するシリアル番号。
serverProductName	string	1	プロダクト名称。
manufacturer	string	1	メーカー名。
serverProductNumber	string	1	製品番号。
serverUuid	string	1	UUID。
partitionNo	integer	1	ブレードが挿入されているスロット番号。フルワイドブレードの場合は占有するスロットのうち小さい番号。SMP構成の場合は、プライマリサーバブレードが挿入されているスロット番号。
primarySlot	integer	1	ブレードが挿入されているスロット番号。フルワイドブレードの場合は占有するスロットのうち小さい番号。SMP構成の場合は、プライマリサーバブレードが挿入されているスロット番号。
partitionWidth	integer	1	ブレードサーバを構成するブレードの数。
slotWidth	integer	0~1	シャーシ内のスロットの数。
bladeNumber	string	0~1	ブレード番号。ブレードサーバを構成するブレードのブレード番号がコンマ区切りで列挙されます。
slotNumber	string	0~1	スロット番号。ブレードサーバを構成するブレードが挿入されているすべてのスロット番号がコンマ区切りで列挙されます。
partitionValid	string	1	ブレードサーバが使用できる状態かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：ブレードサーバは使用できます。 FALSE：ブレードサーバは使用できません。
healthStatus	string	1	ブレードサーバの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> NORMAL：正常 WARNING：警告 FAIL：障害 UNKNOWN：不明
maintenanceMode	string	1	ブレードサーバの保守モードの設定。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：保守モードに設定されています。 FALSE：保守モードに設定されていません。
serverStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none"> Running：起動 Stopped：停止。 Unknown：マネジメントモジュールとの通信失敗のため、状態不明。
lastRefreshed	dateTime	1	情報最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
cpuName	string	1	CPU 名称。
cpuFrequencyInMHz	float	1	CPU の動作周波数 (MHz)。

属性	データ型	数	説明
numberOfCpus	integer	1	CPU の数。
numberOfCores	integer	1	CPU ごとのコア数。
cpuCacheSizeInKB	double	1	CPU キャッシュサイズ (KB)。
memorySizeInMB	float	1	メモリーサイズ (MB)。
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • ON • OFF • BLINKING • SLOW_BLINKING • FAST_BLINKING • UNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> • BLUE • GREEN • RED • ORANGE • UNKNOWN
lomDhcpEnable	string	1	BMC が DHCP を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • TRUE • FALSE
lomIpAddress	string	1	BMC の IP アドレス (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomSubnetMask	string	1	BMC のサブネットマスク (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomDefaultGateway	string	1	BMC のデフォルトゲートウェイの IP アドレス (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomIpAddressV6	string	0~1	BMC の IP アドレス (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomPrefixLengthV6	string	0~1	BMC のプレフィックス長 (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomDefaultGatewayV6	string	0~1	BMC のデフォルトゲートウェイの IP アドレス (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
currentFWVersion	string	1	現在動作中のファームウェアのバージョン。
currentLOMVersion	string	1	現在動作中の BMC のバージョン。
currentEFIVersion	string	1	現在動作中の EFI のバージョン。
updatingFWVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作するファームウェアのバージョン。
updatingLOMVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作する BMC のバージョン。
updatingEFIVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作する EFI のバージョン。
remoteConsoleUrl	string	1	リモートコンソールの URL。
wwnType	string	1	WWN の種類。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Original Additional Unknown
macType	string	1	MAC アドレスの種類。 <ul style="list-style-type: none"> Original Additional Unknown
osMode	string	1	動作モード。 <ul style="list-style-type: none"> Basic HVM Unknown
firmwareRestartRequired	string	1	ファームウェアを更新したあと、反映するためにブレードサーバを再起動する必要があるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：更新したファームウェアを反映させるために、ブレードサーバを再起動する必要があります。 FALSE：更新したファームウェアはすでに反映されています。
nmColdStandby	string	0～1	N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できます。 FALSE：N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できません。
lpVersion	string	0～1	HVM のファームウェアバージョン。
lpID	string	0～1	HVM の識別子。
lpStatus	string	0～1	HVM の状態。 <ul style="list-style-type: none"> Running Stopped Unknown
lpIpAddress	string	0～1	HVM の IP アドレス。
lpSubnetMask	string	0～1	HVM のサブネットマスク。
lpDefaultGateway	string	0～1	HVM のデフォルトゲートウェイ IP アドレス。
lpVNICSystemNo	integer	0～1	HVM の VNIC システム番号。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は'-1'になります。
lpSaveChangedConfig	string	0～1	HVM 起動時の構成情報フォーマットの変換後に、構成情報を自動保存するかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外か、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable

属性	データ型	数	説明
lpVCPort	string	0～1	仮想 COM コンソールポートの TCP ポート番号 (1024～65520)。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpTimeZone	string	0～1	HVM システム時刻のタイムゾーン (書式: [+ -]hh:mm)。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpTimeSync	string	0～1	時刻同期の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Svp : マネジメントモジュールと時刻同期する • NTP : NTP サーバと時刻同期する • Disable : 時刻同期しない
lpNTPServer1	string	0～1	NTP サーバ 1 の IP アドレス。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpNTPServer2	string	0～1	NTP サーバ 2 の IP アドレス。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpPreStateAutoAct	string	0～1	Pre-State Auto Activation の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpAutoShutdown	string	0～1	HVM 自動シャットダウンの設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpErrWatching	string	0～1	エラー監視の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> No
lpPhyCpuState	string	0~1	<p>省電力機能が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable Disable
lpMaxSupportedNumOfLPARs	integer	0~1	<p>作成できる LPAR の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>
lpMaxNumOfRunningLPARs	integer	0~1	<p>同時に動作できる LPAR の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>
lpAvailableMemoryNode	string	0~1	<p>有効なメモリーノード。NUMA 設定が有効な場合、有効なメモリーノードをコンマでつないだ文字列（例：0,2,4,8）。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>
lpLPARMaxMemorySize	float	0~1	LPAR に設定できる最大メモリサイズ
lpLPARMemoryStep	float	0~1	LPAR に設定できるメモリ・ステップサイズ
lpGuestNuma	string	0~1	<p>HVM のゲスト NUMA 設定が有効か無効か。ブレードサーバが Basic モードの場合、またはゲスト NUMA が有効か無効かを識別できない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable：ゲスト NUMA 機能が有効。 Disable：ゲスト NUMA 機能が無効。
lpPreBootFirmware	string	0~1	<p>Pre-boot ファームウェアとして 64UEFI をサポートしているかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
lpSolarisBoot	string	0~1	<p>OS タイプが Solaris 設定をサポートしているかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable

属性	データ型	数	説明
lpGuestIdleMode	string	0~1	HVM のゲストアイドルモードの設定が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpLowLatency	string	0~1	HVM の Low Latency 設定が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpLicenseHana	string	0~1	HVM の追加ライセンスが有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpEpt1GB	string	0~1	HVM の EPT1GB 機能が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpPerformanceTuningOptions	string	0~1	この属性は未サポートのため、値は参照しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpMaxNumOfLogicalCpu	integer	0~1	LPAR に設定できる論理 CPU の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

2.3 NIC のポート情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバの NIC のポート情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID>/collections/Nicport

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerNicPort

```
{
  "ServerNicPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "serverBladeNumber": ...,
    "cardSlotNumber": ...,
    "cardType": "...",
    "cardName": "...",
    "busNumber": ...,
    "deviceNumber": ...,
    "functionNumber": ...,
    "controllerNumber": ...,
    "portNumber": ...,
    "macAddress": "...",
    "duplication": "...",
    "changeFromDefault": "..."
  }],
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	NIC ポートが搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
serverBladeNumber	integer	1	NIC ポートが搭載されているブレードの番号。
cardSlotNumber	integer	1	カードのスロット番号。
cardType	string	1	カード種別。 <ul style="list-style-type: none"> • MEZZANINE • PCI • ONBOARD • PCI_IOEU • PCI_IOBD • PCI_EXPANSION_BLADE
cardName	string	1	カードの名前。 例: 'Emulex 10Gb 4-port converged network mezzanine card'
busNumber	integer	1	バス番号。
deviceNumber	integer	1	デバイス番号。
functionNumber	integer	1	ファンクション番号。
controllerNumber	integer	1	コントローラー番号。
portNumber	integer	1	ポート番号。
macAddress	string	1	MAC アドレス (書式: XX:XX:XX:XX:XX:XX)。
duplication	string	1	MAC アドレスが重複しているかどうか <ul style="list-style-type: none"> • TRUE • FALSE
changeFromDefault	string	1	MAC アドレスが初期値から変更されたかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • TRUE • FALSE

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

2.4 HBA のポート情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバの HBA のポート情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

```
GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID>/collections/Hbaport
```

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerHbaPort

```
{
  "ServerHbaPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "serverBladeNumber": ...,
    "cardSlotNumber": ...,
    "cardType": "...",
    "cardName": "...",
    "busNumber": ...,
    "deviceNumber": ...,
    "functionNumber": ...,
    "portNumber": ...,
    "wwpn": "...",
    "wwpnDuplication": "...",
    "wwpnChangeFromDefault": "...",
    "wwnn": "...",
    "wwnnDuplication": "...",
    "wwnnChangeFromDefault": "..."
  }],
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	HBA ポートが搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
serverBladeNumber	integer	1	HBA ポートが搭載されているブレードの番号。
cardSlotNumber	integer	1	カードのスロット番号。
cardType	string	1	カードの種類。 <ul style="list-style-type: none"> • MEZZANINE • PCI • ONBOARD • PCI_IOEU • PCI_IOBD • PCI_EXPANSION_BLADE
cardName	string	1	カードの名前。
busNumber	integer	1	バス番号。
deviceNumber	integer	1	デバイス番号。
functionNumber	integer	1	ファンクション番号。
portNumber	integer	1	ポート番号。
wwpn	string	1	WWPN。
wwpnDuplication	string	1	WWPN が重複しているかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • TRUE • FALSE
wwpnChangeFromDefault	string	1	WWPN が初期値から変更されているかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • TRUE • FALSE
wwnn	string	1	WWNN。
wwnnDuplication	string	1	WWNN が重複しているかどうかを示します。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> TRUE FALSE
wwnnChangeFromDefault	string	1	WWNN が初期値から変更されているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE FALSE

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

2.5 HVM の物理プロセッサの情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバ上の HVM の、物理プロセッサの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/collections/LpPhysicalcpu

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerLpPhysicalCpu

```
{
  "ServerLpPhysicalCpu": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "serverBladeNumber": "...",
    "cpuNo": "...",
    "socketNo": "...",
    "coreNo": "...",
    "threadNo": "...",
    "coreStatus": "...",
    "cpuStatus": "...",
    "cpuGroupNo": "...",
    "allocation": "...",
    "nodeNo": "...
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	物理プロセッサが搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
serverBladeNumber	integer	1	物理プロセッサが搭載されているブレードの番号。ブレードサーバとして使用していない場合は'-1'。
cpuNo	integer	1	CPU 番号。
socketNo	integer	1	ソケット番号。
coreNo	integer	1	コア番号。
threadNo	integer	1	スレッド番号。
coreStatus	string	1	プロセッサコアの状態。 <ul style="list-style-type: none">Activated : 通常動作状態。Deactivated : キャパシティオンデマンド用の予備状態。Warning : 回復可能障害回数がしきい値を超えた状態。
cpuStatus	string	1	物理プロセッサの状態。 <ul style="list-style-type: none">High : 最高速度で動作できる状態。MXX : 中間速度で動作できる状態。M01, M02, M03, ... の順に速度が遅くなります。Low : 最低速度で動作できる状態。Failure : FAULT 状態。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Error : ERROR 状態。 Offline : OFFLINE 状態。
cpuGroupNo	integer	1	プロセッサグループ番号。
allocation	string	1	CPU コアの割り当てモード。 <ul style="list-style-type: none"> Share : 共有モード。 Dedicate : 占有モード。
nodeNo	string	1	物理プロセッサが属する NUMA ノードの番号。NUMA ノードをサポートしていない場合、空文字列。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

2.6 HVM のプロセッサグループの情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバ上の HVM の、プロセッサグループの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/collections/LpCpugroup

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerLpCpuGroup

```
{
  "ServerLpCpuGroup": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "groupNo": ...,
    "groupName": "...",
    "sharedCores": ...,
    "dedicatedCores": ...,
    "numberOfThreads": ...
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	プロセッサグループが搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
groupNo	integer	1	グループ番号。
groupName	string	1	グループ名。
sharedCores	integer	1	共有コア数。
dedicatedCores	integer	1	占有コア数。
numberOfThreads	integer	1	スレッド数。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

2.7 HVM の NIC ポートの情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバ上の HVM の、NIC ポートの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/collections/LpNicport

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerLpNICPort

```
{
  "ServerLpNICPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "pciDeviceNo": ...,
    "vendor": "...",
    "deviceName": "...",
    "formattedSlotNo": "...",
    "slotNo": "...",
    "portNo": "...",
    "busNo": "...",
    "devNo": "...",
    "funcNo": ...,
    "personality": "...",
    "allocation": "...",
    "status": "...",
    "assignedLparNo": ...,
    "sharedNicNo": ...,
    "sharedNicSegment": "...",
    "portStatus": "...",
    "packetFilter": "...",
    "srIovSupport": "...",
    "vfMacAddressEditable": "...",
    "vfVlanUndeffEditable": "...",
    "vfVlanTagEditable": "...",
    "vfVlanUntagEditable": "...",
    "vfPrmThroughEditable": "...",
    "vfPrmRestrictEditable": "...",
    "vfTxRateEditable": "...",
    "vfTxRateMax": ...,
    "vfTxRateMin": ...,
    "vfTxRateStep": ...
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
pciDeviceNo	integer	1	PCI 番号。
vendor	string	1	PCI デバイスのベンダー名。
deviceName	string	1	デバイス名。
formattedSlotNo	string	1	スロット番号を整形した文字列。 例: 'Mezzanine:X (Server Blade:XX)'
slotNo	string	1	スロット番号。 例: 'EXX'
portNo	string	1	ポート番号。
busNo	string	1	バス番号。
devNo	string	1	デバイス番号。
funcNo	integer	1	ファンクション番号。
personality	string	1	Personality <ul style="list-style-type: none"> *: BE3/Skyhawk デバイス以外。FCoE 非対応のファームウェアを使用した場合。 NIC : Peronaliry が NIC FCoE : Peronaliry が FCoE

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> iSCSI : Peronaliry が iSCSI (not support) OTHER : その他 (Custum, etc. not support)
allocation	string	1	NIC の割り当てモード。 <ul style="list-style-type: none"> Share : 共有モード。 Dedicate : 占有モード。
status	string	1	PCI デバイスの状態。空の場合は正常。 <ul style="list-style-type: none"> Removed : 削除された。 Error : 障害閉塞。
assignedLparNo	integer	1	割り当てられた LPAR 番号。ポートがどの LPAR にも割り当てられていない場合は'-1'。
sharedNicNo	integer	1	共有 NIC 番号。
sharedNicSegment	string	1	共有 NIC セグメント。
portStatus	string	1	ポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> U : Link Up 状態。 D : Link Down 状態。 - : 未定義状態。 E : 障害。 * : 状態が不明。
packetFilter	string	1	共有 NIC の通信パケットフィルタ情報。この NIC が無効の場合、値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : 通信量は内部 LPAR ネットワークで制限されません。 Disable(ALL) : 通信量のフィルタリングは無効です。 Enable : 通信量は外部 LPAR ネットワークで制限されません。
srIovSupport	string	1	SR-IOV サポート有無。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
vfMacAddressEditable	string	1	VF NIC の MAC アドレスを編集できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : VF NIC は MAC アドレスを編集できません。 Enable : VF NIC は MAC アドレスを編集できます。
vfVlanUndeffEditable	string	1	VF NIC の VLAN モードを Undef に設定できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : VF NIC は Undef に設定できません。 Enable : VF NIC は Undef に設定できます。
vfVlanTagEditable	string	1	VF NIC の VLAN モードを Tagged に設定できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : VF NIC は Tagged に設定できません。 Enable : VF NIC は Tagged に設定できます。
vfVlanUntagEditable	string	1	VF NIC の VLAN モードを Untagged に設定できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : VF NIC は Untagged に設定できません。 Enable : VF NIC は Untagged に設定できます。
vfPrmThroughEditable	string	1	VF NIC のプロミスキャスモードを Through に設定できるかどうか。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Disable : VF NIC はプロミスキャスモードを Through に設定できません。 Enable : VF NIC はプロミスキャスモードを Through に設定できます。
vfPrmRestrictEditable	string	1	VF NIC のプロミスキャスモードを Restricted に設定できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : VF NIC はプロミスキャスモードを Restricted に設定できません。 Enable : VF NIC はプロミスキャスモードを Restricted に設定できます。
vfTxRateEditable	string	1	VF NIC で最大転送速度 (TXRATE) を設定できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : VF NIC は最大転送速度 (TXRATE) を設定できません。 Enable : VF NIC は最大転送速度 (TXRATE) を設定できます。
vfTxRateMax	integer	1	最大転送速度 (TXRATE) の最大値。srlovSupport が'Disable'の場合は'-1'。
vfTxRateMin	integer	1	最大転送速度 (TXRATE) の最小値。srlovSupport が'Disable'の場合は'-1'。
vfTxRateStep	integer	1	最大転送速度 (TXRATE) の間隔。srlovSupport が'Disable'の場合は'-1'。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

2.8 HVM の FC ポートの情報を取得する

instanceID で指定したブレードサーバ上の HVM の, FC ポートの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/collections/LpFcport

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerLpFCPort

```
{
  "ServerLpFCPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "pciDeviceNo": "...",
    "vendor": "...",
    "deviceName": "...",
    "formattedSlotNo": "...",
    "slotNo": "...",
    "portNo": "...",
    "vfcId": "...",
    "status": "...",
    "portStatus": "...",
    "wwpn": "...",
    "wwnn": "...",
    "migrationWwpn": "...",
    "migrationWwnn": "...",
    "busNo": "...",
    "devNo": "...",
    "funcNo": "...",
    "personality": "...",
    "allocation": "...",
    "coreDedicateSupport": "...",
  ]
}
```

```

"coreNum": "...",
"coreDedicate": "...",
"assignedLparNo": ...
},
:
]
}

```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
pciDeviceNo	integer	1	PCI 番号。
vendor	string	1	PCI デバイスのベンダー名。
deviceName	string	1	デバイス名。
formattedSlotNo	string	1	スロット番号を整形した文字列。 例: 'Mezzanine:X (Server Blade:XX)'
slotNo	string	1	スロット番号。 例: 'EXX'
portNo	integer	1	ポート番号。
vfcId	string	1	vfcID。
status	string	1	PCI デバイスの状態。空の場合は正常。 <ul style="list-style-type: none"> Removed : 削除された。 Error : 障害閉塞。
portStatus	string	1	ポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> Available : 正常に利用できます。 ConfigCheck : 構成上の問題で利用できません。 LinkDown : ケーブルが接続されていないため利用できません。 ErrorCheck : 回復不能な障害状態であるため利用できません。 - : 占有モードではありません。 * : 状態が不明です。
wwpn	string	1	FC の WWPn。
wwnn	string	1	FC の WWNN。
migrationWwpn	string	1	マイグレーション WWPn。
migrationWwnn	string	1	マイグレーション WWNN。
busNo	string	1	バス番号。
devNo	string	1	デバイス番号。
funcNo	integer	1	ファンクション番号。
personality	string	1	Personality <ul style="list-style-type: none"> * : BE3/Skyhawk デバイス以外 FCoE : Personality が FCoE iSCSI : Personality が iSCSI (not support) OTHER : その他 (Custum, etc. not support)
allocation	string	1	HBA の割り当てモード。 <ul style="list-style-type: none"> Share : 共有モード。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> • Dedicate : 占有モード。
coreDedicateSupport	string	1	<p>コア占有モードのサポート状態。共有モードのときに有効です。共有モード以外の場合は空になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable : サポート。 • Disable : 非サポート。
coreNum	string	1	<p>コア数。コア占有モードがサポートのときに有効です。サポート以外の場合は"*"になります。</p>
coreDedicate	string	1	<p>コア占有モードの有効/無効状態。コア占有モードが非サポートの場合は、非該当 "-" になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable : 有効。 • Disable : 無効。 • - : 非該当。
assignedLparNo	integer	1	<p>割り当てられた LPAR 番号。ポートがどの LPAR にも割り当てられていない場合は '-1'。</p>

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

2.9 HVM の USB の情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバ上の HVM の、USB の情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/collections/LpUsb

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerLpUSB

```
{
  "ServerLpUSB": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "pciDeviceNo": ...,
    "vendor": "...",
    "deviceName": "...",
    "portNo": "...",
    "busNo": "...",
    "devNo": "...",
    "funcNo": ...,
    "assignedLparNo": ...,
    "usbAutoAssignment": "..."
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
pciDeviceNo	integer	1	PCI 番号。
vendor	string	1	PCI デバイスのベンダー名。
deviceName	string	1	デバイス名。
portNo	string	1	ポート番号。
busNo	string	1	バス番号。

属性	データ型	数	説明
devNo	string	1	デバイス番号。
funcNo	integer	1	ファンクション番号。
assignedLparNo	integer	1	割り当てられた LPAR 番号。USB がどの LPAR にも割り当てられていない場合には'-1'。
usbAutoAssignment	string	1	USB の自動アタッチ機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> • 整数値: USB がアタッチされている LPAR 番号を示します。 • AnyLPAR: LPAR の Activate 時に USB を自動的にアタッチします。 • None: 設定した LPAR にだけ, USB を自動的にアタッチします。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または, 不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない, または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

2.10 LPAR の情報を取得する

instanceID に指定したブレードサーバ上の LPAR のうち、API を実行するユーザの権限で参照できるすべての LPAR の情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID>/collections/Lpar

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Lpar

```
{
  "Lpar": [{
    "instanceId": "...",
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": "...",
    "lparName": "...",
    "lparManagerId": "...",
    "lparStatus": "...",
    "migrationStatus": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": "...",
    "warning": "...",
    "information": "...",
    "activationOrder": "...",
    "autoClearSystemEventLog": "...",
    "virtualConsole": "...",
    "cpuAllocation": "...",
    "numberOfLogicalCpus": "...",
    "cpuGroup": "...",
    "cpuAllocationRatio": "...",
    "cpuIdleDetection": "...",
    "cpuPerformanceCapping": "...",
    "memorySizeInMB": "...",
    "memoryNode": "...",
    "guestNUMA": "...",
    "preBootFirmware": "...",
    "guestOs": "...",
    "guestIdleMode": "...",
    "lowLatency": "...
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI で LPAR を特定する際に使用する識別子。 serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
lparManagerId	string	1	HVM ID。
lparStatus	string	1	LPAR の稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> • ACT : 作動中 • DEACT : 停止中 • UNKNOWN
migrationStatus	string	1	マイグレーションの実行状態。 <ul style="list-style-type: none"> • NONE : なし。マイグレーションしていません。 • NEED : マイグレーション失敗。要回復。 • FAILURE : マイグレーション失敗。回復不可能。 • INPROGRESS : マイグレーション実行中。 • RECOVERING : 回復中。 • UNKNOWN : 不明。
lastRefreshed	dateTime	1	最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
activationOrder	string	1	LPAR が自動起動する際の起動順序 (1~99)。HVM 起動時に、数値の昇順に LPAR を自動起動します。 <ul style="list-style-type: none"> • * : 自動起動しません。
autoClearSystemEventLog	string	1	システムイベントログの自動削除の設定。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
virtualConsole	string	1	仮想 COM コンソール機能の有効/無効の設定。仮想 COM コンソール機能が有効な場合は、仮想 COM 番号 (整数)。無効な場合は '*'。
cpuAllocation	string	1	CPU の割り当てモード。 <ul style="list-style-type: none"> • Share : 共有モード。 • Dedicate : 占有モード。
numberOfLogicalCpus	integer	1	論理プロセッサの数。
cpuGroup	integer	1	プロセッサグループ。
cpuAllocationRatio	integer	1	プロセッサのサービス率 (1~999)。cpuAllocation の値が Share の場合に有効な情報です。
cpuIdleDetection	string	1	アイドル検出機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
cpuPerformanceCapping	string	1	プロセッサキャッピング機能の設定。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
memorySizeInMB	integer	1	メモリーサイズ (MB)。
memoryNode	string	1	メモリーノード。 <ul style="list-style-type: none"> メモリーノード番号 (整数値) : 割り当てるメモリーノードを設定した場合。 Automatically : 自動的に割り当てられる場合。 Automatically(Multiple) : 複数のノードが割り当てられている場合。 GuestNUMA : ゲスト NUMA が有効な場合。
guestNUMA	string	0~1	ゲスト NUMA 機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
preBootFirmware	string	1	Pre-boot ファームウェアの種別。 <ul style="list-style-type: none"> BIOS 64UEFI
guestOs	string	1	OS 種別。 <ul style="list-style-type: none"> Default Solaris
guestIdleMode	string	0~1	ゲストアイドルモードの種別。アイドル検出機能の設定が Enable の場合、またはゲストアイドルモードがサポートされていない場合、空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Halt Poll Mwait
lowLatency	string	0~1	Low Latency 機能の設定。HVM が Low Latency 機能をサポートしていない場合、空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの <code>Accept</code> の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの <code>Content-Type</code> にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの <code>Content-Type</code> に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

2.11 ブレードサーバの電源を ON にする

`instanceID` に指定したブレードサーバの電源を ON にするタスクを登録します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT `http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/actions/Poweron/invoke`

instanceID:

`serverUniqueKey` を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerPowerOn

```
{
  "schedule": "...",
  "time": "...",
  "elapsedTime": ...,
  "emailNotificationType": "...",
  "verifyLpm": "...",
  "lpmElapsedTime": ...
}
```

属性	データ型	数	説明
schedule	string	0~1	ブレードサーバ電源を ON にするスケジュールを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> NOW : 即時開始 LATER : time で指定した日時に開始。LATER を指定する場合は、time も合わせて指定してください。デフォルトの値は NOW です。
time	string	0~1	ブレードサーバの電源を ON にする日付と時刻を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定します。過去の時刻は指定できません。schedule が 'LATER' のときに有効です。
elapsedTime	integer	0~1	ブレードサーバの電源が ON になるまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。 0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
emailNotificationType	string	0~1	E メール通知の方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> SEND : E メールを送信します。 SEND_ONLY_TASK_FAILED : タスクが失敗したときだけ E メールを送信します。 NOT_SEND : E メールを送信しません。 デフォルトの値は NOT_SEND です。
verifyLpm	string	0~1	HVM の起動を確認するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> YES : 起動を確認します。 NO : 起動を確認しません。 デフォルトの値は YES です。
lpmElapsedTime	integer	0~1	HVM が起動するまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。verifyLpm が 'YES' の場合だけ有効です。 0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id": ...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ブレードサーバの電源を ON にするために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
400	2010	102	elapsedTime に指定した値が範囲外です。
400	2010	103	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	104	time に無効な値を指定しました。
400	2010	105	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	107	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	108	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
400	2010	109	verifyLpm に指定した値が不正です。
400	2010	110	lpmElapsedTime に指定した値が範囲外です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	106	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

2.12 ブレードサーバの電源を OFF にする

instanceID に指定したブレードサーバの電源を強制的に OFF にするタスクを登録します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/actions/Poweroff/invoke

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerPowerOff

```
{
  "schedule": "...",
  "time": "...",
  "elapsedTime": ...,
  "emailNotificationType": "..."}

```

属性	データ型	数	説明
schedule	string	0~1	ブレードサーバの電源を強制的に OFF にするスケジュールを指定します。 <ul style="list-style-type: none">NOW : 即時開始LATER : time で指定した日時に開始。LATER を指定する場合は、time も合わせて指定してください。デフォルトの値は NOW です。
time	string	0~1	ブレードサーバの電源を強制的に OFF にする日付と時刻を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定します。過去の時刻は指定できません。schedule が 'LATER' のときに有効です。
elapsedTime	integer	0~1	ブレードサーバの電源が OFF になるまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
emailNotificationType	string	0~1	E メール通知の方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none">SEND : E メールを送信します。SEND_ONLY_TASK_FAILED : タスクが失敗したときだけ E メールを送信します。NOT_SEND : E メールを送信しません。デフォルトの値は NOT_SEND です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
    "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ブレードサーバの電源を OFF にするために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
400	2010	102	elapsedTime に指定した値が範囲外です。
400	2010	103	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	104	time に無効な値を指定しました。
400	2010	105	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	107	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	108	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	106	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから, 再度実行してください。

2.13 ブレードサーバの電源をリセットする

instanceID に指定したブレードサーバの電源をリセットするタスクを登録します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/actions/Reset/invoke

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ServerPowerReset

```
{
  "schedule": "...",
  "time": "...",
  "elapsedTime": ...,
  "emailNotificationType": "..."}

```

属性	データ型	数	説明
schedule	string	0~1	ブレードサーバの電源をリセットするスケジュールを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> NOW : 即時開始 LATER : time で指定した日時に開始。LATER を指定する場合は, time も合わせて指定してください。デフォルトの値は NOW です。
time	string	0~1	ブレードサーバの電源をリセットする日付と時刻を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定します。過去の時刻は指定できません。schedule が'LATER'のときに有効です。

属性	データ型	数	説明
elapsedTime	integer	0~1	ブレードサーバの電源がリセットされるまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位:秒) の値を指定できます。 0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
emailNotificationType	string	0~1	E メール通知の方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> SEND : E メールを送信します。 SEND_ONLY_TASK_FAILED : タスクが失敗したときだけ E メールを送信します。 NOT_SEND : E メールを送信しません。 デフォルトの値は NOT_SEND です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ブレードサーバの電源をリセットするために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
400	2010	102	elapsedTime に指定した値が範囲外です。
400	2010	103	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	104	time に無効な値を指定しました。
400	2010	105	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	107	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	108	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	106	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

2.14 ブレードサーバの LID を点灯する

instanceID に指定したブレードサーバの LID を点灯します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

```
PUT http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID>/actions/Lidon/invoke
```

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{  
    "id":...  
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ブレードサーバの LID を点灯するために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

2.15 ブレードサーバの LID を消灯する

instanceID に指定したブレードサーバの LID を消灯します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT `http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID >/actions/Lidoff/invoke`

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
    "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ブレードサーバの LID を消灯するために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

2.16 ブレードサーバの情報を更新する

instanceID に指定したブレードサーバの情報を更新します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades/<instanceID>/actions/Refresh/invoke

instanceID:

serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ブレードサーバの情報を更新するために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

3

シャーシ

この章では、シャーシの情報取得・操作に関する API について説明します。

- 3.1 すべてのシャーシの情報を取得する
- 3.2 特定のシャーシの情報を取得する
- 3.3 シャーシを管理対象から外す
- 3.4 シャーシに搭載されたブレードサーバの情報を取得する
- 3.5 マネジメントモジュールの情報取得する
- 3.6 スイッチモジュールの情報取得する
- 3.7 ファンモジュールの情報取得する
- 3.8 電源モジュールの情報取得する
- 3.9 マネジメント LAN モジュールの情報取得する
- 3.10 I/O ボードモジュールの情報取得する
- 3.11 シャーシの LID を点灯する
- 3.12 シャーシの LID を消灯する
- 3.13 シャーシの情報を更新する

3.1 すべてのシャーシの情報を取得する

API を実行するユーザの権限で参照できるすべてのシャーシの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Chassis

```
{
  "Chassis": [{
    "instanceId": "...",
    "chassisUniqueKey": "...",
    "chassisSerialNumber": "...",
    "chassisModelNumber": "...",
    "chassisModelName": "...",
    "chassisName": "...",
    "chassisType": "...",
    "chassisSystem": "...",
    "chassisStatus": "...",
    "healthStatus": "...",
    "maintenanceMode": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": "...",
    "warning": "...",
    "information": "...",
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "...",
    "svpIpAddress": "...",
    "svpSubnetMask": "...",
    "svpPrefixLength": "...",
    "svpDefaultGateway": "...",
    "webConsoleUrl": "..."
  }],
  :
  :
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI でシャーシを特定する際に使用する識別子。 chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。
chassisUniqueKey	string	1	このシャーシを特定する識別子。
chassisSerialNumber	string	1	シリアル番号。シャーシを特定するシリアル番号。
chassisModelNumber	string	1	モデル番号。
chassisModelName	string	1	プロダクト名またはモデル名。
chassisName	string	1	ユーザーが定義したシャーシの名前。

属性	データ型	数	説明
chassisType	string	1	シャーシ種別。
chassisSystem	string	0~1	システム種別。
chassisStatus	string	1	マネジメントモジュール経由で確認したシャーシの状態。 <ul style="list-style-type: none"> Running : シャーシ動作中。 Unknown : マネジメントモジュールとの通信に失敗したため、確認できません。
healthStatus	string	1	シャーシの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> NORMAL : 正常 WARNING : 警告 FAIL : 障害 UNKNOWN : 不明
maintenanceMode	string	1	シャーシの保守モードの設定。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE : 保守モードに設定されています。 FALSE : 保守モードに設定されていません。
lastRefreshed	dateTime	1	最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> ON OFF BLINKING SLOW_BLINKING FAST_BLINKING UNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> BLUE GREEN RED ORANGE UNKNOWN
svpIpAddress	string	1	SVP の IP アドレス (IPv4 または IPv6 形式)。
svpNetMask	string	1	SVP のサブネットマスク (IPv4 形式)。IP アドレスが IPv6 の場合、空文字列です。
svpPrefixLength	string	1	SVP のプレフィックス長 (IPv6 形式)。IP アドレスが IPv4 の場合、プレフィックス長は空文字列。
svpDefaultGateway	string	1	SVP のデフォルトゲートウェイ IP アドレス (IPv4 または IPv6 形式)。
webConsoleUrl	string	1	Web コンソールの URL。ブラウザから Web コンソールにアクセスするための URL。https://xxxxx.port/... のように整形された文字列。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

3.2 特定のシャーシの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID>

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Chassis

```
{
  "Chassis": [{
    "instanceId": "...",
    "chassisUniqueKey": "...",
    "chassisSerialNumber": "...",
    "chassisModelNumber": "...",
    "chassisModelName": "...",
    "chassisName": "...",
    "chassisType": "...",
    "chassisSystem": "...",
    "chassisStatus": "...",
    "healthStatus": "...",
    "maintenanceMode": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": "...",
    "warning": "...",
    "information": "...",
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "...",
    "svpIpAddress": "...",
    "svpSubnetMask": "...",
    "svpPrefixLength": "...",
    "svpDefaultGateway": "...",
    "webConsoleUrl": "..."
  }]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI でシャーシを特定する際に使用する識別子。 chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。
chassisUniqueKey	string	1	このシャーシを特定する識別子。
chassisSerialNumber	string	1	シリアル番号。シャーシを特定するシリアル番号。
chassisModelNumber	string	1	モデル番号。
chassisModelName	string	1	プロダクト名またはモデル名。
chassisName	string	1	ユーザーが定義したシャーシの名前。
chassisType	string	1	シャーシ種別。
chassisSystem	string	0~1	システム種別。
chassisStatus	string	1	マネジメントモジュール経由で確認したシャーシの状態。 <ul style="list-style-type: none">Running : シャーシ動作中。Unknown : マネジメントモジュールとの通信に失敗したため、確認できません。
healthStatus	string	1	シャーシの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none">NORMAL : 正常WARNING : 警告FAIL : 障害UNKNOWN : 不明
maintenanceMode	string	1	シャーシの保守モードの設定。 <ul style="list-style-type: none">TRUE : 保守モードに設定されています。FALSE : 保守モードに設定されていません。
lastRefreshed	dateTime	1	最終更新日時。

属性	データ型	数	説明
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • ON • OFF • BLINKING • SLOW_BLINKING • FAST_BLINKING • UNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> • BLUE • GREEN • RED • ORANGE • UNKNOWN
svpIpAddress	string	1	SVP の IP アドレス (IPv4 または IPv6 形式)。
svpNetMask	string	1	SVP のサブネットマスク (IPv4 形式)。IP アドレスが IPv6 の場合、空文字列です。
svpPrefixLength	string	1	SVP のプレフィックス長 (IPv6 形式)。IP アドレスが IPv4 の場合、プレフィックス長は空文字列。
svpDefaultGateway	string	1	SVP のデフォルトゲートウェイ IP アドレス (IPv4 または IPv6 形式)。
webConsoleUrl	string	1	Web コンソールの URL。ブラウザから Web コンソールにアクセスするための URL。https://xxxxx:port/... のように整形された文字列。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

3.3 シャーシを管理対象から外す

instanceID に指定したシャーシを Compute Systems Manager の管理対象から外します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

DELETE http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID>

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	0 が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2150	1	指定されたシャーシは幾つかのタスクで使用されているため、管理対象から外せません。
412	2150	2	指定されたシャーシに搭載されたブレードサーバが N+M コールドスタンバイグループに登録されているため、管理対象から外せません。
412	2150	3	指定されたシャーシに搭載されたブレードサーバ、VM、または LPAR がデプロイメントマネージャーの対象として登録されているため、管理対象から外せません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

3.4 シャーシに搭載されたブレードサーバの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシに搭載されているブレードサーバのうち、API を実行するユーザの権限で参照できるブレードサーバの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID >/collections/Blade

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Server

```
{
  "Server": [{
    "instanceId": "...",
    "chassisUniqueKey": "...",
    "serverUniqueKey": "...",
    "serverSerialNumber": "...",
    "serverProductName": "...",
    "manufacturer": "...",
    "serverProductNumber": "...",
    "serverUuid": "...",
    "partitionNo": ...,
    "primarySlot": ...,
    "partitionWidth": ...,
    "slotWidth": ...,
    "bladeNumber": "...",
    "slotNumber": "...",
    "partitionValid": "...",
    "healthStatus": "...",
    "maintenanceMode": "...",
    "serverStatus": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": ...,
    "warning": ...,
    "information": ...,
    "cpuName": "...",
    "cpuFrequencyInMHz": ...,
    "numberOfCpus": ...,
    "numberOfCores": ...,
    "cpuCacheSizeInKB": ...,
    "memorySizeInMB": ...,
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "...",
    "lomDhcpEnable": "...",
    "lomIpAddress": "...",
    "lomSubnetMask": "...",
    "lomDefaultGateway": "...",
    "lomIpAddressV6": "...",
    "lomPrefixLengthV6": "...",
    "lomDefaultGatewayV6": "...",
    "currentFWVersion": "...",
    "currentLOMVersion": "...",
    "currentEFIVersion": "...",
    "updatingFWVersion": "...",
    "updatingLOMVersion": "...",
    "updatingEFIVersion": "...",
    "remoteConsoleUrl": "...",
    "wnwType": "...",
    "macType": "...",
    "osMode": "...",
    "firmwareRestartRequired": "...",
    "nmColdStandby": "...",
```

```

    "lpVersion": "...",
    "lpID": "...",
    "lpStatus": "...",
    "lpIpAddress": "...",
    "lpSubnetMask": "...",
    "lpDefaultGateway": "...",
    "lpVNICSystemNo": "...",
    "lpSaveChangedConfig": "...",
    "lpVCPort": "...",
    "lpTimeZone": "...",
    "lpTimeSync": "...",
    "lpNTPServer1": "...",
    "lpNTPServer2": "...",
    "lpPreStateAutoAct": "...",
    "lpAutoShutdown": "...",
    "lpErrWatching": "...",
    "lpPhyCpuState": "...",
    "lpMaxSupportedNumOfLPARs": "...",
    "lpMaxNumOfRunningLPARs": "...",
    "lpAvailableMemoryNode": "...",
    "lpLPARMaxMemorySize": "...",
    "lpLPARMemoryStep": "...",
    "lpGuestNuma": "...",
    "lpPreBootFirmware": "...",
    "lpSolarisBoot": "...",
    "lpGuestIdleMode": "...",
    "lpLowLatency": "...",
    "lpLicenseHana": "...",
    "lpEpt1GB": "...",
    "lpPerformanceTuningOptions": "...",
    "lpMaxNumOfLogicalCpu": ...
  },
  :
  ]
}

```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI でブレードサーバを特定する際に使用する識別子。 serverUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。
chassisUniqueKey	string	1	ブレードサーバが搭載されているシャーシを特定する識別子。
serverUniqueKey	string	1	ブレードサーバを特定する識別子。
serverSerialNumber	string	1	サーバシリアル番号。ブレードサーバを特定するシリアル番号。
serverProductName	string	1	プロダクト名称。
manufacturer	string	1	メーカー名。
serverProductNumber	string	1	製品番号。
serverUuid	string	1	UUID。
partitionNo	integer	1	ブレードが挿入されているスロット番号。フルワイドブレードの場合は占有するスロットのうち小さい番号。SMP 構成の場合は、プライマリサーバブレードが挿入されているスロット番号。
primarySlot	integer	1	ブレードが挿入されているスロット番号。フルワイドブレードの場合は占有するスロットのうち小さい番号。SMP 構成の場合は、プライマリサーバブレードが挿入されているスロット番号。
partitionWidth	integer	1	ブレードサーバを構成するブレードの数。
slotWidth	integer	0~1	シャーシ内のスロットの数。

属性	データ型	数	説明
bladeNumber	string	0~1	ブレード番号。ブレードサーバを構成するブレードのブレード番号がコンマ区切りで列挙されます。
slotNumber	string	0~1	スロット番号。ブレードサーバを構成するブレードが挿入されているすべてのスロット番号がコンマ区切りで列挙されます。
partitionValid	string	1	ブレードサーバが使用できる状態かどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：ブレードサーバは使用できます。 FALSE：ブレードサーバは使用できません。
healthStatus	string	1	ブレードサーバの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> NORMAL：正常 WARNING：警告 FAIL：障害 UNKNOWN：不明
maintenanceMode	string	1	ブレードサーバの保守モードの設定。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE：保守モードに設定されています。 FALSE：保守モードに設定されていません。
serverStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none"> Running：起動 Stopped：停止。 Unknown：マネジメントモジュールとの通信失敗のため、状態不明。
lastRefreshed	dateTime	1	情報最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
cpuName	string	1	CPU 名称。
cpuFrequencyInMHz	float	1	CPU の動作周波数 (MHz)。
numberOfCpus	integer	1	CPU の数。
numberOfCores	integer	1	CPU ごとのコア数。
cpuCacheSizeInKB	double	1	CPU キャッシュサイズ (KB)。
memorySizeInMB	float	1	メモリーサイズ (MB)。
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> ON OFF BLINKING SLOW_BLINKING FAST_BLINKING UNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> BLUE GREEN RED

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> ORANGE UNKNOWN
lomDhcpEnable	string	1	BMC が DHCP を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE FALSE
lomIpAddress	string	1	BMC の IP アドレス (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomSubnetMask	string	1	BMC のサブネットマスク (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomDefaultGateway	string	1	BMC のデフォルトゲートウェイの IP アドレス (IPv4)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomIpAddressV6	string	0~1	BMC の IP アドレス (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomPrefixLengthV6	string	0~1	BMC のプレフィックス長 (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
lomDefaultGatewayV6	string	0~1	BMC のデフォルトゲートウェイの IP アドレス (IPv6)。設定されていない場合、この値は空文字列です。
currentFWVersion	string	1	現在動作中のファームウェアのバージョン。
currentLOMVersion	string	1	現在動作中の BMC のバージョン。
currentEFIVersion	string	1	現在動作中の EFI のバージョン。
updatingFWVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作するファームウェアのバージョン。
updatingLOMVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作する BMC のバージョン。
updatingEFIVersion	string	1	ブレードサーバを再起動したあとに動作する EFI のバージョン。
remoteConsoleUrl	string	1	リモートコンソールの URL。
wwnType	string	1	WWN の種類。 <ul style="list-style-type: none"> Original Additional Unknown
macType	string	1	MAC アドレスの種類。 <ul style="list-style-type: none"> Original Additional Unknown
osMode	string	1	動作モード。 <ul style="list-style-type: none"> Basic HVM Unknown
firmwareRestartRequired	string	1	ファームウェアを更新したあと、反映するためにブレードサーバを再起動する必要があるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE : 更新したファームウェアを反映させるために、ブレードサーバを再起動する必要があります。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> FALSE: 更新したファームウェアはすでに反映されています。
nmColdStandby	string	0~1	<p>N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できるかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> TRUE: N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できます。 FALSE: N+M コールドスタンバイグループの現用ブレードまたは予備ブレードとして使用できません。
lpVersion	string	0~1	HVM のファームウェアバージョン。
lpID	string	0~1	HVM の識別子。
lpStatus	string	0~1	<p>HVM の状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> Running Stopped Unknown
lpIpAddress	string	0~1	HVM の IP アドレス。
lpSubnetMask	string	0~1	HVM のサブネットマスク。
lpDefaultGateway	string	0~1	HVM のデフォルトゲートウェイ IP アドレス。
lpVNICSystemNo	integer	0~1	<p>HVM の VNIC システム番号。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は'-1'になります。</p>
lpSaveChangedConfig	string	0~1	<p>HVM 起動時の構成情報フォーマットの変換後に、構成情報を自動保存するかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外か、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
lpVCPort	string	0~1	<p>仮想 COM コンソールポートの TCP ポート番号 (1024~65520)。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>
lpTimeZone	string	0~1	<p>HVM システム時刻のタイムゾーン (書式: [+ -]hh:mm)。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>
lpTimeSync	string	0~1	<p>時刻同期の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Svp: マネジメントモジュールと時刻同期する

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> • NTP : NTP サーバと時刻同期する • Disable : 時刻同期しない
lpNTPServer1	string	0~1	NTP サーバ 1 の IP アドレス。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpNTPServer2	string	0~1	NTP サーバ 2 の IP アドレス。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpPreStateAutoAct	string	0~1	Pre-State Auto Activation の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpAutoShutdown	string	0~1	HVM 自動シャットダウンの設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpErrWatching	string	0~1	エラー監視の設定。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
lpPhyCpuState	string	0~1	省電力機能が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpMaxSupportedNumOfLPARs	integer	0~1	作成できる LPAR の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpMaxNumOfRunningLPARs	integer	0~1	同時に動作できる LPAR の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、

属性	データ型	数	説明
			合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpAvailableMemoryNode	string	0~1	有効なメモリーノード。NUMA 設定が有効な場合、有効なメモリーノードをコンマでつないだ文字列（例：0,2,4,8）。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。
lpLPARMaxMemorySize	float	0~1	LPAR に設定できる最大メモリサイズ
lpLPARMemoryStep	float	0~1	LPAR に設定できるメモリ・ステップサイズ
lpGuestNuma	string	0~1	HVM のゲスト NUMA 設定が有効か無効か。ブレードサーバが Basic モードの場合、またはゲスト NUMA が有効か無効かを識別できない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable : ゲスト NUMA 機能が有効。 • Disable : ゲスト NUMA 機能が無効。
lpPreBootFirmware	string	0~1	Pre-boot ファームウェアとして 64UEFI をサポートしているかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpSolarisBoot	string	0~1	OS タイプが Solaris 設定をサポートしているかどうか。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpGuestIdleMode	string	0~1	HVM のゲストアイドルモードの設定が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpLowLatency	string	0~1	HVM の Low Latency 設定が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpLicenseHana	string	0~1	HVM の追加ライセンスが有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効

属性	データ型	数	説明
			<p>の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable • Disable
lpEpt1GB	string	0~1	<p>HVM の EPT1GB 機能が有効か無効か。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpPerformanceTuningOptions	string	0~1	<p>この属性は未サポートのため、値は参照しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
lpMaxNumOfLogicalCpu	integer	0~1	<p>LPAR に設定できる論理 CPU の最大数。論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスが未登録または無効の場合、この属性は生成されません。osMode が'HVM'以外の場合、または、ブレードサーバが論理分割の対象に追加されていない場合、この値は空文字列です。</p>

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

3.5 マネジメントモジュールの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシに搭載されているすべてのマネジメントモジュールの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID >/collections/Managementmodule

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ManagementModule

```
{
  "ManagementModule": [{
    "chassisUniqueKey": "...",
    "slotNo": "...",
    "serialNumber": "...",
    "installStatus": "...",
    "active": "...",
    "powerStatus": "...",
    "healthStatus": "...",
    "maintenanceMode": "...",
    "modelName": "...",
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "...",
    "firmwareVersion": "...",
    "dictionaryVersion": "...",
    "parameterVersion": "...",
    "svpIpAddress": "...",
    "svpSubnetMask": "...",
    "svpDefaultGateway": "...",
    "svpIpAddressV6": "...",
    "svpPrefixLengthV6": "...",
    "svpDefaultGatewayV6": "...",
    "maintenanceIpAddress": "...",
    "maintenanceSubnetMask": "...",
    "maintenanceDefaultGateway": "...",
  }],
  :
}
```

}]

属性	データ型	数	説明
chassisUniqueKey	string	1	マネジメントモジュールが搭載されているシャーシを特定する識別子。
slotNo	integer	1	スロット番号。
serialNumber	string	0~1	シリアル番号。
installStatus	string	1	搭載状態。 <ul style="list-style-type: none"> • INSTALL • NOT_INSTALL • NA
active	string	1	実行状態。 <ul style="list-style-type: none"> • ACTIVE : 主系。 • NON_ACTIVE : 待機系。 • UNKNOWN : 不明。
powerStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF • ON • UNKNOWN
healthStatus	string	1	マネジメントモジュールの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> • NORMAL : 正常 • WARNING : 警告 • FAIL : 障害 • UNKNOWN : 不明
maintenanceMode	string	1	マネジメントモジュールの保守モードの設定。 <ul style="list-style-type: none"> • TRUE : 保守モードに設定されています。 • FALSE : 保守モードに設定されていません。
modelName	string	1	モデル番号。
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • ON • OFF • BLINKING • SLOW_BLINKING • FAST_BLINKING • UNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> • BLUE • GREEN • RED • ORANGE • UNKNOWN
firmwareVersion	string	1	ファームウェアのバージョン。
dictionaryVersion	string	1	アラートの辞書バージョン。

属性	データ型	数	説明
parameterVersion	string	1	パラメーターバージョン。
svpIpAddress	string	1	SVP IP アドレス (IPv4)。値が設定されていない場合、空文字列です。
svpSubnetMask	string	1	SVP サブネットマスク (IPv4)。値が設定されていない場合、空文字列です。
svpDefaultGateway	string	1	SVP デフォルトゲートウェイアドレス (IPv4)。値が設定されていない場合、空文字列です。
svpIpAddressV6	string	0~1	SVP IP アドレス (IPv6)。値が設定されていない場合、空文字列です。
svpPrefixLengthV6	string	0~1	SVP プリフィックスマスク (IPv6)。値が設定されていない場合、空文字列です。
svpDefaultGatewayV6	string	0~1	SVP デフォルトゲートウェイアドレス (IPv6)。値が設定されていない場合、空文字列です。
maintenanceIpAddress	string	1	保守 LAN 設定の IP アドレス。値が設定されていない場合、空文字列です。
maintenanceSubnetMask	string	1	保守 LAN 設定のサブネットマスク。値が設定されていない場合、空文字列です。
maintenanceDefaultGateway	string	1	保守 LAN 設定のデフォルトゲートウェイアドレス。値が設定されていない場合、空文字列です。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

3.6 スイッチモジュールの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシに搭載されているすべてのスイッチモジュールの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID>/collections/Switchmodule

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

SwitchModule

```
{
  "SwitchModule": [{
    "chassisUniqueKey": "...",
    "switchUniqueKey": "...",
    "serialNumber": "...",
    "slotNo": ...,
    "installStatus": "...",
    "powerStatus": "...",
    "healthStatus": "...",
    "maintenanceMode": "...",
    "switchType": "...",
    "modelName": "...",
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "...",
    "firmwareVersion": "...",
    "ipAddress": "...",
    "subnetMask": "...",
    "defaultGateway": "..."
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
chassisUniqueKey	string	1	スイッチモジュールが搭載されているシャーシを特定する識別子。
switchUniqueKey	string	1	スイッチユニークキー。スイッチモジュールを特定する識別子。
serialNumber	string	1	シリアル番号。
slotNo	integer	1	スロット番号。
installStatus	string	1	搭載状態。 <ul style="list-style-type: none"> INSTALL NOT_INSTALL NA
powerStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none"> OFF ON UNKNOWN
healthStatus	string	1	スイッチモジュールの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> NORMAL : 正常 WARNING : 警告 FAIL : 障害 UNKNOWN : 不明
maintenanceMode	string	1	スイッチモジュールの保守モードの設定。 <ul style="list-style-type: none"> TRUE : 保守モードに設定されています。 FALSE : 保守モードに設定されていません。
switchType	string	1	スイッチモジュールの種類。 例 : '1Gb LAN SW' '1/10Gb LAN SW' '8Gb FC SW' '10Gb DCB Switch Module' 'LAN pass through' '1Gb 40 ports LAN SW' 'JIG SW' 'Unknown'
modelNumber	string	1	モデル番号。
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> ON OFF BLINKING SLOW_BLINKING FAST_BLINKING UNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> BLUE GREEN RED

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> ORANGE UNKNOWN
firmwareVersion	string	1	ファームウェアバージョン。
ipAddress	string	1	IP アドレス。値が設定されていない場合、空文字列です。
subnetMask	string	1	サブネットマスク。値が設定されていない場合、空文字列です。
defaultGateway	string	1	デフォルトゲートウェイ IP アドレス。値が設定されていない場合、空文字列です。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

3.7 ファンモジュールの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシに搭載されているすべてのファンモジュールの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID>/collections/Fanmodule

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

FANModule

```
{
  "FANModule": [
    {
      "chassisUniqueKey": "...",
      "slotNo": ...,
      "location": "...",
      "installStatus": "...",
      "powerStatus": "...",
      "healthStatus": "..."
    },
    :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
chassisUniqueKey	string	1	ファンモジュールが搭載されているシャーシを特定する識別子。
slotNo	integer	1	スロット番号。
location	string	0~1	ブレードサーバの場合、値は空文字になります。
installStatus	string	1	搭載状態。 <ul style="list-style-type: none">INSTALLNOT_INSTALLNA
powerStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none">OFFONUNKNOWN
healthStatus	string	1	ファンモジュールの稼働状態。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> NORMAL : 正常 WARNING : 警告 FAIL : 障害 UNKNOWN : 不明

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

3.8 電源モジュールの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシに搭載されているすべての電源モジュールの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET `http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID >/collections/Powersupplymodule`

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

PowerSupplyModule

```
{
  "PowerSupplyModule": [{
    "chassisUniqueKey": "...",
    "slotNo": ...,
    "location": "...",
    "installStatus": "...",
    "productName": "...",
    "modelName": "...",
    "serialNumber": "...",
    "powerStatus": "...",
    "healthStatus": "..."
  }],
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
chassisUniqueKey	string	1	電源モジュールが搭載されているシャーシを特定する識別子。
slotNo	integer	1	スロット番号。
location	string	0~1	ブレードサーバの場合、値は空文字になります。
installStatus	string	1	搭載状態。 <ul style="list-style-type: none">INSTALLNOT_INSTALLNA
productName	string	1	プロダクト名称。
modelName	string	1	モデル番号。
serialNumber	string	1	シリアル番号。
powerStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none">OFFONUNKNOWN
healthStatus	string	1	電源モジュールの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none">NORMAL : 正常WARNING : 警告FAIL : 障害

属性	データ型	数	説明
			• UNKNOWN : 不明

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

3.9 マネジメント LAN モジュールの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシに搭載されているすべてのマネジメント LAN モジュールの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

```
GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID >/collections/Managementlanmodule
```

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ManagementLanModule

```
{
  "ManagementLanModule": [{
    "chassisUniqueKey": "...",
    "slotNo": ...,
    "installStatus": "...",
    "powerStatus": "...",
    "healthStatus": "...",
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "..."
  }],
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
chassisUniqueKey	string	1	管理 LAN モジュールが搭載されているシャーシを特定する識別子。
slotNo	integer	1	スロット番号。
installStatus	string	1	搭載状態。 <ul style="list-style-type: none">INSTALLNOT_INSTALLNA
powerStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none">OFFONUNKNOWN
healthStatus	string	1	マネジメント LAN モジュールの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none">NORMAL : 正常WARNING : 警告FAIL : 障害UNKNOWN : 不明
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none">ONOFFBLINKINGSLOW_BLINKINGFAST_BLINKINGUNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none">BLUE

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> GREEN RED ORANGE UNKNOWN

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

3.10 I/O ボードモジュールの情報を取得する

instanceID に指定したシャーシに搭載されているすべての I/O ボードモジュールの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID>/collections/Iobdmodules

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IOBDModule

```
{
  "IOBDModule": [{
    "chassisUniqueKey": "...",
    "serverUniqueKey": "...",
    "serverBladeNumber": ...,
    "cardSlotName": "...",
    "cardSlotNumber": ...,
    "cardInstallStatus": "...",
    "powerStatus": "...",
    "healthStatus": "...",
    "lidStatus": "...",
    "lidColor": "...",
    "cardType": "...",
    "cardName": "..."
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
chassisUniqueKey	string	1	I/O ボードモジュールが搭載されているシャーシを特定する識別子。
serverUniqueKey	string	1	I/O ボードモジュールが搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
serverBladeNumber	integer	1	I/O ボードモジュールが搭載されているブレードの番号。ブレードサーバとして使用していない場合は'-1'。
cardSlotName	string	1	カードスロット名。
cardSlotNumber	integer	1	カードスロット番号。不明の場合は'-1'。
cardInstallStatus	string	1	カード搭載状態。 <ul style="list-style-type: none">INSTALLNOT_INSTALLNA
powerStatus	string	1	電源状態。 <ul style="list-style-type: none">OFFONUNKNOWN
healthStatus	string	1	IO ボードモジュールの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none">NORMAL : 正常

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> WARNING : 警告 FAIL : 障害 UNKNOWN : 不明
lidStatus	string	1	LID 状態。 <ul style="list-style-type: none"> ON OFF BLINKING SLOW_BLINKING FAST_BLINKING UNKNOWN
lidColor	string	1	LID の表示色。 <ul style="list-style-type: none"> BLUE GREEN RED ORANGE UNKNOWN
cardType	string	1	カード種別。カードが搭載されていない場合、空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> MEZZANINE PCI ONBOARD PCI_IOEU PCI_IOBD
cardName	string	1	カードの名前。カードが搭載されていない場合、空文字列。 例: 'Emulex 10Gb 4-port converged network mezzanine card'

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

3.11 シャーシの LID を点灯する

instanceID に指定したシャーシの LID を点灯します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID >/actions/Lidon/invoke

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	シャーシの LID を点灯するために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2012	100	指定されたシャーシは LID 操作をサポートしていません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

3.12 シャーシの LID を消灯する

instanceID に指定したシャーシの LID を消灯します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

```
PUT http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID>/actions/Lidoff/invoke
```

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	シャシーの LID を消灯するために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2012	100	指定されたシャシーは LID 操作をサポートしていません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

3.13 シャーシの情報を更新する

instanceID に指定したシャーシの情報を更新します。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Chassis/<instanceID >/actions/Refresh/invoke

instanceID:

chassisUniqueKey を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	シャーシの情報を更新するために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

4

LPAR

この章では、LPAR の情報取得に関する API について説明します。

- 4.1 すべての LPAR の情報を取得する
- 4.2 特定の LPAR の情報を取得する
- 4.3 論理プロセッサの情報を取得する
- 4.4 仮想 NIC ポートの情報を取得する
- 4.5 占有 NIC ポートの情報を取得する
- 4.6 共有 FC ポートの情報を取得する
- 4.7 占有 FC ポートの情報を取得する
- 4.8 USB の情報を取得する

4.1 すべての LPAR の情報を取得する

API を実行するユーザーの権限で参照できるすべての LPAR の情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Lpar

```
{
  "Lpar": [{
    "instanceId": "...",
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": ...,
    "lparName": "...",
    "lparManagerId": "...",
    "lparStatus": "...",
    "migrationStatus": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": ...,
    "warning": ...,
    "information": ...,
    "activationOrder": "...",
    "autoClearSystemEventLog": "...",
    "virtualConsole": "...",
    "cpuAllocation": "...",
    "numberOfLogicalCpus": ...,
    "cpuGroup": ...,
    "cpuAllocationRatio": ...,
    "cpuIdleDetection": "...",
    "cpuPerformanceCapping": "...",
    "memorySizeInMB": ...,
    "memoryNode": "...",
    "guestNUMA": "...",
    "preBootFirmware": "...",
    "guestOs": "...",
    "guestIdleMode": "...",
    "lowLatency": "..."
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI で LPAR を特定する際に使用する識別子。 serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。

属性	データ型	数	説明
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
lparManagerId	string	1	HVM ID。
lparStatus	string	1	LPAR の稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> ACT : 作動中 DEACT : 停止中 UNKNOWN
migrationStatus	string	1	マイグレーションの実行状態。 <ul style="list-style-type: none"> NONE : なし。マイグレーションしていません。 NEED : マイグレーション失敗。要回復。 FAILURE : マイグレーション失敗。回復不可能。 INPROGRESS : マイグレーション実行中。 RECOVERING : 回復中。 UNKNOWN : 不明。
lastRefreshed	dateTime	1	最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
activationOrder	string	1	LPAR が自動起動する際の起動順序 (1~99)。HVM 起動時に、数値の昇順に LPAR を自動起動します。 <ul style="list-style-type: none"> * : 自動起動しません。
autoClearSystemEventLog	string	1	システムイベントログの自動削除の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
virtualConsole	string	1	仮想 COM コンソール機能の有効/無効の設定。仮想 COM コンソール機能の有効な場合は、仮想 COM 番号 (整数)。無効な場合は'*'。
cpuAllocation	string	1	CPU の割り当てモード。 <ul style="list-style-type: none"> Share : 共有モード。 Dedicate : 占有モード。
numberOfLogicalCpus	integer	1	論理プロセッサの数。
cpuGroup	integer	1	プロセッサグループ。
cpuAllocationRatio	integer	1	プロセッサのサービス率 (1~999)。cpuAllocation の値が Share の場合に有効な情報です。
cpuIdleDetection	string	1	アイドル検出機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
cpuPerformanceCapping	string	1	プロセッサキャッピング機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
memorySizeInMB	integer	1	メモリーサイズ (MB)。
memoryNode	string	1	メモリーノード。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> メモリーノード番号（整数値）：割り当てるメモリーノードを設定した場合。 Automatically：自動的に割り当てられる場合。 Automatically(Multiple)：複数のノードが割り当てられている場合。 GuestNUMA：ゲスト NUMA が有効な場合。
guestNUMA	string	0～1	ゲスト NUMA 機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
preBootFirmware	string	1	Pre-boot ファームウェアの種別。 <ul style="list-style-type: none"> BIOS 64UEFI
guestOs	string	1	OS 種別。 <ul style="list-style-type: none"> Default Solaris
guestIdleMode	string	0～1	ゲストアイドルモードの種別。アイドル検出機能の設定が Enable の場合、またはゲストアイドルモードがサポートされていない場合、空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Halt Poll Mwait
lowLatency	string	0～1	Low Latency 機能の設定。HVM が Low Latency 機能をサポートしていない場合、空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

4.2 特定の LPAR の情報を取得する

instanceID に指定した LPAR の情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars/<instanceID>

instanceID:

serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Lpar

```
{
  "Lpar": [{
    "instanceId": "...",
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": ...,
    "lparName": "...",
    "lparManagerId": "...",
    "lparStatus": "...",
    "migrationStatus": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": ...,
    "warning": ...,
    "information": ...,
    "activationOrder": "...",
    "autoClearSystemEventLog": "...",
    "virtualConsole": "...",
  ]
}
```

```

"cpuAllocation": "...",
"numberOfLogicalCpus": ...,
"cpuGroup": ...,
"cpuAllocationRatio": ...,
"cpuIdleDetection": "...",
"cpuPerformanceCapping": "...",
"memorySizeInMB": ...,
"memoryNode": "...",
"guestNUMA": "...",
"preBootFirmware": "...",
"guestOs": "...",
"guestIdleMode": "...",
"lowLatency": "...
}
}
}

```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI で LPAR を特定する際に使用する識別子。 serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
lparManagerId	string	1	HVM ID。
lparStatus	string	1	LPAR の稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> ACT : 作動中 DEACT : 停止中 UNKNOWN
migrationStatus	string	1	マイグレーションの実行状態。 <ul style="list-style-type: none"> NONE : なし。マイグレーションしていません。 NEED : マイグレーション失敗。要回復。 FAILURE : マイグレーション失敗。回復不可能。 INPROGRESS : マイグレーション実行中。 RECOVERING : 回復中。 UNKNOWN : 不明。
lastRefreshed	dateTime	1	最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。
activationOrder	string	1	LPAR が自動起動する際の起動順序 (1~99)。HVM 起動時に、数値の昇順に LPAR を自動起動します。 <ul style="list-style-type: none"> * : 自動起動しません。
autoClearSystemEventLog	string	1	システムイベントログの自動削除の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
virtualConsole	string	1	仮想 COM コンソール機能の有効/無効の設定。仮想 COM コンソール機能が有効な場合は、仮想 COM 番号 (整数)。無効な場合は '*'。
cpuAllocation	string	1	CPU の割り当てモード。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Share : 共有モード。 Dedicate : 占有モード。
numberOfLogicalCpus	integer	1	論理プロセッサの数。
cpuGroup	integer	1	プロセッサグループ。
cpuAllocationRatio	integer	1	プロセッサのサービス率 (1~999)。cpuAllocation の値が Share の場合に有効な情報です。
cpuIdleDetection	string	1	アイドル検出機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
cpuPerformanceCapping	string	1	プロセッサキャッピング機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
memorySizeInMB	integer	1	メモリーサイズ (MB)。
memoryNode	string	1	メモリーノード。 <ul style="list-style-type: none"> メモリーノード番号 (整数値) : 割り当てるメモリーノードを設定した場合。 Automatically : 自動的に割り当てられる場合。 Automatically(Multiple) : 複数のノードが割り当てられている場合。 GuestNUMA : ゲスト NUMA が有効な場合。
guestNUMA	string	0~1	ゲスト NUMA 機能の設定。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable
preBootFirmware	string	1	Pre-boot ファームウェアの種別。 <ul style="list-style-type: none"> BIOS 64UEFI
guestOs	string	1	OS 種別。 <ul style="list-style-type: none"> Default Solaris
guestIdleMode	string	0~1	ゲストアイドルモードの種別。アイドル検出機能の設定が Enable の場合、またはゲストアイドルモードがサポートされていない場合、空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Halt Poll Mwait
lowLatency	string	0~1	Low Latency 機能の設定。HVM が Low Latency 機能をサポートしていない場合、空文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

4.3 論理プロセッサの情報を取得する

instanceID に指定した LPAR の論理プロセッサの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars/<instanceID >/collections/Logicalcpu

instanceID:

serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

LparLogicalCpu

```
{
  "LparLogicalCpu": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": ...,
    "lparName": "...",
    "logicalCpuNo": ...,
    "assignedPhysicalCpuNo": "...",
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
logicalCpuNo	integer	1	論理プロセッサ番号。
assignedPhysicalCpuNo	string	1	論理プロセッサに割り当てた物理プロセッサの番号 (整数)。 <ul style="list-style-type: none"> Automatically : 論理プロセッサに物理プロセッサを自動で割り当てる。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

4.4 仮想 NIC ポートの情報を取得する

instanceID に指定した LPAR の仮想 NIC ポートの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars/<instanceID >/collections/Virtualnicport

instanceID:

serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

LparVirtualNICPort

```
{
  "LparVirtualNICPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": "...",
    "lparName": "...",
    "vnicNo": "...",
    "macAddress": "...",
    "segment": "...",
    "formattedSlotNo": "...",
    "slotNo": "...",
    "pciDeviceNo": "...",
    "portNo": "...",
    "vlanTagType": "...",
    "vlanId": "...",
    "promiscuousMode": "...",
    "txRate": ...
  ]
}
```



```

    ]
}

```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
vnicNo	integer	1	仮想 NIC 番号。
macAddress	string	1	MAC アドレス（書式：XX:XX:XX:XX:XX:XX）。
segment	string	1	セグメント。
formattedSlotNo	string	1	スロット番号を整形した文字列。 例：'Mezzanine:X (Server Blade:XX)'
slotNo	string	1	スロット番号。 例：'EXX'
pciDeviceNo	string	1	PCI デバイス番号。仮想 NIC のネットワークセグメント識別子が'Vx'（例：'Va'）の場合、空文字列。
portNo	string	1	ポート番号。
vlanTagType	string	1	VLAN モード。VLAN を使用しない場合 OFF になります。 <ul style="list-style-type: none"> Tagged Untagged
vlanId	string	1	VLAN ID。複数の VLAN ID が設定されている場合、コンマで区切ってすべての値が列挙されます（書式：vlanId0[,vlanId1...]）。 例：'1001,2003,3004,4007,4016'
promiscuousMode	string	1	プロミスキュスモード。 <ul style="list-style-type: none"> Through Restricted
txRate	integer	1	最大転送速度。セグメントが VF NIC でない場合は'-1'。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です（Basic 認証，HSSO セッション認証のどちらでもありません）。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です（認証情報のフォーマットが不正です）。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの <code>Accept</code> の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの <code>Content-Type</code> にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの <code>Content-Type</code> に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

4.5 占有 NIC ポートの情報を取得する

`instanceID` に指定した LPAR の占有 NIC ポートの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET `http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars/<instanceID >/collections/Dedicatednicport`

instanceID:

`serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号` を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

LparDedicatedNICPort

```
{
  "LparDedicatedNICPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": "...",
    "lparName": "...",
    "formattedSlotNo": "...",
    "slotNo": "...",
    "pciDeviceNo": "...",
    "portNo": "..."
  }],
}
```

```

:
]
}

```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
formattedSlotNo	string	1	スロット番号を整形した文字列。 例: 'Mezzanine:X (Server Blade:XX)'
slotNo	string	1	スロット番号。 例: 'EXX'
pciDeviceNo	integer	1	PCI 番号。
portNo	string	1	ポート番号。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

4.6 共有 FC ポートの情報を取得する

instanceID に指定した LPAR の共有 FC ポートの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars/<instanceID >/collections/Sharedfcport

instanceID:

serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

LparSharedFCPort

```
{
  "LparSharedFCPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": ...,
    "lparName": "...",
    "formattedSlotNo": "...",
    "slotNo": "...",
    "pciDeviceNo": ...,
    "portNo": ...,
    "portStatus": "...",
    "vfcId": "...",
    "wwpn": "...",
    "wwnn": "...",
    "migrationWwpn": "...",
    "migrationWwnn": "...",
    "busNo": "...",
    "devNo": "...",
    "funcNo": ...,
    "coreDedicate": "...",
    "bootAvailability": "..."
  }],
  :
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
formattedSlotNo	string	1	スロット番号を整形した文字列。 例: 'Mezzanine:X (Server Blade:XX)'
slotNo	string	1	スロット番号。

属性	データ型	数	説明
			例: 'EXX'
pciDeviceNo	integer	1	PCI 番号。
portNo	integer	1	ポート番号。
portStatus	string	1	ポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> Available Unavailable Unknown
vfcId	string	1	vfcID。
wwpn	string	1	FC の WWPN。
wwnn	string	1	FC の WWNN。
migrationWwpn	string	1	マイグレーション WWPN。
migrationWwnn	string	1	マイグレーション WWNN。
busNo	string	1	バス番号。
devNo	string	1	デバイス番号。
funcNo	integer	1	ファンクション番号。
coreDedicate	string	1	コア占有モードの有効/無効状態。 <ul style="list-style-type: none"> Enable : 有効。 Disable : 無効。
bootAvailability	string	1	ブート機能を利用できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Available Notavailable Unknown

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

4.7 占有 FC ポートの情報を取得する

instanceID に指定した LPAR の占有 FC ポートの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars/<instanceID>/collections/Dedicatedfcport

instanceID:

serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

LparDedicatedFCPort

```
{
  "LparDedicatedFCPort": [{
    "serverUniqueKey": "...",
    "lparNo": "...",
    "lparName": "...",
    "formattedSlotNo": "...",
    "slotNo": "...",
    "pciDeviceNo": "...",
    "portNo": "...",
    "wwpn": "...",
    "wwnn": "...",
    "bootAvailability": "..."
  }],
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
formattedSlotNo	string	1	スロット番号を整形した文字列。 例: 'Mezzanine:X (Server Blade:XX)'
slotNo	string	1	スロット番号。 例: 'EXX'
pciDeviceNo	integer	1	PCI 番号。
portNo	integer	1	ポート番号。
wwpn	string	1	FC の WWPN。
wwnn	string	1	FC の WWNN。
bootAvailability	string	1	ブート機能を利用できるかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • Available • Notavailable • Unknown

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

4.8 USB の情報を取得する

instanceID に指定した LPAR の USB の情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Lpars/<instanceID >/collections/Usb

instanceID:

serverUniqueKey + "_" + LPAR 番号を base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

LparUSB

```
{
  "LparUSB": [
    {
      "serverUniqueKey": "...",
      "lparNo": ...,
      "lparName": "...",
      "pciDeviceNo": ...,
      "portNo": "...",
      "assignmentStatus": "..."
    },
    :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
serverUniqueKey	string	1	LPAR が搭載されているブレードサーバを特定する識別子。
lparNo	integer	1	LPAR 番号。
lparName	string	1	LPAR 名。
pciDeviceNo	integer	1	PCI 番号。
portNo	string	1	ポート番号。
assignmentStatus	string	1	USB の割り当て状態。割り当てられていない場合、空文字列です。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Assign : 割り当て (使用中)。 Reserve : 割り当て (未使用)。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	100	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5

ホスト

この章では、ホストの情報取得に関する API について説明します。

- 5.1 すべてのホストの情報を取得する
- 5.2 特定のホストの情報を取得する
- 5.3 ホストを管理対象から外す
- 5.4 CPU の情報を取得する
- 5.5 FC ネットワークの情報を取得する
- 5.6 ファイルシステムの情報を取得する
- 5.7 IP ネットワークの情報を取得する
- 5.8 メモリーの情報を取得する
- 5.9 BMC 設定情報を取得する
- 5.10 OS の情報を取得する
- 5.11 PCI スロットの情報を取得する
- 5.12 ホストの電源を ON にする
- 5.13 OS をシャットダウンしないでホストの電源を OFF にする
- 5.14 ホストをリブートする
- 5.15 ホストをシャットダウンする

5.1 すべてのホストの情報を取得する

API を実行するユーザーの権限で参照できるすべてのホストの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Host

```
{
  "Host": [{
    "instanceId": "...",
    "hostName": "...",
    "osName": "...",
    "manufacturer": "...",
    "ipAddress": "...",
    "productName": "...",
    "hostStatus": "...",
    "serialNumber": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": "...",
    "warning": "...",
    "information": ...
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI でホストを特定する際に使用する識別子。IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。
hostName	string	1	ホスト名。
osName	string	1	OS 名。
manufacturer	string	1	ベンダー名。
ipAddress	string	1	ホストの IP アドレス。
productName	string	1	プロダクト名称。ホストの搭載されているサーバの名称。
hostStatus	string	1	ホストの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none">RunningStoppedUnknown
serialNumber	string	1	シリアル番号。

属性	データ型	数	説明
lastRefreshed	dateTime	1	最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

5.2 特定のホストの情報を取得する

instanceID に指定したホストの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID>

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Host

```
{
  "Host": [{
    "instanceId": "...",
    "hostName": "...",
    "osName": "...",
    "manufacturer": "...",
    "ipAddress": "...",
    "productName": "...",
    "hostStatus": "...",
    "serialNumber": "...",
    "lastRefreshed": "...",
    "error": ...,
    "warning": ...,
    "information": ...
  }]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceId	string	1	URI でホストを特定する際に使用する識別子。IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。
hostName	string	1	ホスト名。
osName	string	1	OS 名。
manufacturer	string	1	ベンダー名。
ipAddress	string	1	ホストの IP アドレス。
productName	string	1	プロダクト名称。ホストの搭載されているサーバの名称。
hostStatus	string	1	ホストの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none">RunningStoppedUnknown
serialNumber	string	1	シリアル番号。
lastRefreshed	dateTime	1	最終更新日時。
error	integer	1	解決していない障害レベルのアラート数。
warning	integer	1	解決していない警告レベルのアラート数。
information	integer	1	解決していない情報レベルのアラート数。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5.3 ホストを管理対象から外す

instanceID に指定したホストを Compute Systems Manager の管理対象から外します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

DELETE http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID>

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{  
    "id":...  
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	0 が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2150	1	指定したホストは幾つかのタスクで使用されているため、管理対象から外せません。
412	2150	2	指定したホストはデプロイメントマネージャーの対象として登録されているため、管理対象から外せません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

5.4 CPU の情報を取得する

instanceID に指定したホストの CPU の情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/collections/Cpu

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Cpu

```
{
  "Cpu": [{
    "hostName": "...",
    "cpuName": "...",
    "frequencyInMhz": ...,
    "numberOfCpus": ...,
    "numberOfCores": ...,
    "l2CacheSizeInKB": ...,
    "l3CacheSizeInKB": ...
  }]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
cpuName	string	1	CPU 名。
frequencyInMhz	float	1	動作周波数 (MHz)。取得できなかった場合は null になります。
numberOfCpus	integer	1	CPU の数。取得できなかった場合は null になります。
numberOfCores	integer	1	コア数。取得できなかった場合は null になります。
l2CacheSizeInKB	float	1	L2 キャッシュのサイズ (KB)。取得できなかった場合は null になります。
l3CacheSizeInKB	float	1	L3 キャッシュのサイズ (KB)。取得できなかった場合は null になります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5.5 FC ネットワークの情報を取得する

instanceID に指定したホストの FC ネットワークの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

```
GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Fcnetwork
```

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

FcNetwork

```
{
  "FcNetwork": [{
    "hostName": "...",
    "adapterName": "...",
    "wwpn": "...",
    "wwnn": "...",
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
adapterName	string	1	アダプター名。
wwpn	string	1	WWPN。
wwnn	string	1	WWNN。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

5.6 ファイルシステムの情報を取得する

instanceID に指定したホストのファイルシステムの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/collections/FileSystem

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

FileSystem

```
{
  "FileSystem": [{
    "hostName": "...",
    "driveName": "...",
    "driveType": "...",
    "fileSystemType": "...",
    "totalSizeInMB": ...,
    "usedSizeInMB": ...,
    "freeSizeInMB": ...
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
driveName	string	1	ドライブ名。
driveType	string	1	ドライブ種別。
fileSystemType	string	1	フォーマット種別。
totalSizeInMB	float	1	総容量 (MB)。取得できなかった場合は null になります。
usedSizeInMB	float	1	使用領域 (MB)。取得できなかった場合は null になります。
freeSizeInMB	float	1	空き領域 (MB)。取得できなかった場合は null になります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5.7 IP ネットワークの情報を取得する

instanceID に指定したホストの IP ネットワークの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

```
GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Ipnetwork
```

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IpAddress

```
{
  "IpAddress": [ {
    "hostName": "...",
    "adapterName": "...",
    "adapterType": "...",
    "ipAddress": "...",
    "subnetMask": "...",
    "networkAddress": "...",
    "macAddress": "..."
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
adapterName	string	1	アダプター名。
adapterType	string	1	アダプター種別。
ipAddress	string	1	IP アドレス。
subnetMask	string	1	サブネットマスク。
networkAddress	string	1	ネットワークアドレス。
macAddress	string	1	MAC アドレス。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

5.8 メモリーの情報を取得する

instanceID に指定したホストのメモリーの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/collections/Memory

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Memory

```
{
  "Memory": [{
    "hostName": "...",
    "totalSizeInMB": ...,
    "maxPageFileSizeInMB": ...
  }]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
totalSizeInMB	float	1	総容量 (MB)。取得できなかった場合は null になります。
maxPageFileSizeInMB	float	1	ページングファイルサイズ (MB)。取得できなかった場合は null になります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5.9 BMC 設定情報を取得する

instanceID に指定したホストの BMC 設定情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID>/collections/Miscdevice

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

LOMSetting

```
{
  "LOMSetting": [{
    "hostName": "...",
    "ipAddress": "...",
    "credentialName": "..."}],
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
ipAddress	string	1	IP アドレス。
credentialName	string	1	デバイスにアクセスするための認証情報名。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5.10 OS の情報を取得する

instanceID に指定したホストの OS の情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/collections/Os

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

OS

```
{
  "OS": [{
    "hostName": "...",
    "uuid": "...",
    "osName": "...",
    "servicePackVersion": "...",
    "osVersion": "...",
    "domainName": "...",
    "description": "...",
    "lastReboot": "...",
    "smt": "..."
  }]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
uuid	string	1	UUID。
osName	string	1	OS 名。
servicePackVersion	string	1	サービスパックのバージョン。
osVersion	string	1	OS バージョン。
domainName	string	1	ドメイン名。
description	string	1	OS の説明。
lastReboot	dateTime	1	最終ブート日時。
smt	string	1	SMT の使用可否。 <ul style="list-style-type: none">Disable : SMT を使用できません。Enable : SMT を使用できます。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5.11 PCI スロットの情報を取得する

instanceID に指定したホストの PCI スロットの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/collections/Pcislot

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

PCI

```
{
  "PCI": [{
    "hostName": "...",
    "deviceId": "...",
    "deviceName": "...",
    "manufacturer": "..."
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
hostName	string	1	ホスト名。
deviceId	string	1	デバイス ID。
deviceName	string	1	デバイス名。
manufacturer	string	1	PCI デバイスのベンダー名。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

5.12 ホストの電源を ON にする

instanceID に指定したホストの電源を ON にします。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/actions/Poweron/invoke

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

HostPowerOn

```
{
  "schedule": "...",
  "time": "...",
  "elapsedTime": ...,
  "emailNotificationType": "..."}

```

属性	データ型	数	説明
schedule	string	0~1	ホストの電源を ON にするスケジュールを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> NOW: 即時開始 LATER: time で指定した日時に開始。LATER を指定する場合は、time も合わせて指定してください。デフォルトの値は NOW です。
time	string	0~1	ホストの電源を ON にする日付と時刻を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定します。過去の時刻は指定できません。schedule が'LATER'のときに有効です。
elapsedTime	integer	0~1	ホストの電源が ON になるまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
emailNotificationType	string	0~1	E メール通知の方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> SEND: E メールを送信します。 SEND_ONLY_TASK_FAILED: タスクが失敗したときだけ E メールを送信します。 NOT_SEND: E メールを送信しません。

属性	データ型	数	説明
			デフォルトの値は NOT_SEND です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
    "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ホストの電源を ON にするために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
400	2010	102	elapsedTime に指定した値が範囲外です。
400	2010	103	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	104	time に無効な値を指定しました。
400	2010	105	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	107	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	108	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
412	2018	106	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから, 再度実行してください。

5.13 OS をシャットダウンしないでホストの電源を OFF にする

instanceID に指定したホストの OS をシャットダウンしないで電源を OFF にします。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/actions/Poweroff/invoke

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

HostPowerOff

```
{
  "schedule": "...",
  "time": "...",
  "elapsedTime": ...,
  "emailNotificationType": "..."}

```

属性	データ型	数	説明
schedule	string	0~1	ホストの電源を強制的に OFF にするスケジュールを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> NOW : 即時開始 LATER : time で指定した日時に開始。LATER を指定する場合は, time も合わせて指定してください。デフォルトの値は NOW です。
time	string	0~1	ホストの電源を強制的に OFF にする日付と時刻を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定します。過去の時

属性	データ型	数	説明
			刻は指定できません。schedule が'LATER'のときに有効です。
elapsedTime	integer	0~1	ホストの電源が OFF になるまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999(単位：秒) の値を指定できます。0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
emailNotificationType	string	0~1	E メール通知の方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> SEND : E メールを送信します。 SEND_ONLY_TASK_FAILED : タスクが失敗したときだけ E メールを送信します。 NOT_SEND : E メールを送信しません。 デフォルトの値は NOT_SEND です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
    "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ホストの電源を強制的に OFF にするために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
400	2010	102	elapsedTime に指定した値が範囲外です。
400	2010	103	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	104	time に無効な値を指定しました。
400	2010	105	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	107	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	108	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	106	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

5.14 ホストをリブートする

instanceID に指定したホストをリブートします。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID >/actions/Reboot/invoke

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

HostReboot

```
{
  "schedule": "...",
  "time": "...",
  "elapsedTime": ...,
```

```

    "hypElapseTime":...,
    "emailNotificationType":"..."
}

```

属性	データ型	数	説明
schedule	string	0~1	ホストをリポートするスケジュールを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> NOW : 即時開始 LATER : time で指定した日時に開始。LATER を指定する場合は、time も合わせて指定してください。デフォルトの値は NOW です。
time	string	0~1	ホストをリポートする日付と時刻を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定します。過去の時刻は指定できません。schedule が'LATER'のときに有効です。
elapseTime	integer	0~1	ホストのリポートが完了するまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
hypElapseTime	integer	0~1	ハイパーバイザーとゲスト OS のリポートが完了するまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
emailNotificationType	string	0~1	E メール通知の方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> SEND : E メールを送信します。 SEND_ONLY_TASK_FAILED : タスクが失敗したときだけ E メールを送信します。 NOT_SEND : E メールを送信しません。 デフォルトの値は NOT_SEND です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```

{
    "id":...
}

```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ホストをリポートするために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
400	2010	102	elapsedTime に指定した値が範囲外です。
400	2010	103	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	104	time に無効な値を指定しました。
400	2010	105	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	107	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	108	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
400	2010	109	hypElapsedTime に指定した値が範囲外です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	106	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから、再度実行してください。

5.15 ホストをシャットダウンする

instanceID に指定したホストをシャットダウンします。

ロール

Admin/Modify

リクエストライン

PUT http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Hosts/<instanceID>/actions/Shutdown/invoke

instanceID:

IP アドレスを base64url でエンコードした文字列。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

HostShutdown

```
{
  "schedule": "...",
  "time": "...",
  "elapsedTime": ...,
  "hypElapsedTime": ...,
  "emailNotificationType": "..."}

```

属性	データ型	数	説明
schedule	string	0~1	ホストをシャットダウンするスケジュールを指定します。 <ul style="list-style-type: none">NOW : 即時開始LATER : time で指定した日時に開始。LATER を指定する場合は、time も合わせて指定してください。デフォルトの値は NOW です。
time	string	0~1	ホストをシャットダウンする日付と時刻を YYYY/MM/DD HH:MM:SS の形式で指定します。過去の時刻は指定できません。schedule が 'LATER' のときに有効です。
elapsedTime	integer	0~1	ホストのシャットダウンが完了するまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
hypElapsedTime	integer	0~1	ハイパーバイザーとゲスト OS のシャットダウンが完了するまでのタイムアウト時間を指定します。0 から 9999 (単位: 秒) の値を指定できます。0 を指定した場合、または省略した場合は、デフォルトの値が設定されます。デフォルトの値は GUI で設定されたタイムアウト時間です。
emailNotificationType	string	0~1	E メール通知の方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none">SEND : E メールを送信します。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> SEND_ONLY_TASK_FAILED: タスクが失敗したときだけ E メールを送信します。 NOT_SEND: E メールを送信しません。 デフォルトの値は NOT_SEND です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id": ...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	ホストをシャットダウンするために登録されたタスクのタスク ID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
400	2010	102	elapsedTime に指定した値が範囲外です。
400	2010	103	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	104	time に無効な値を指定しました。
400	2010	105	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	107	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	108	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
400	2010	109	hypElapsedTime に指定した値が範囲外です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照または操作する権限がありません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	106	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	100	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。
503	2020	2	タスク登録に失敗しました。しばらくしてから, 再度実行してください。

6

タスク

この章では、タスクの情報取得に関する API について説明します。

- 6.1 タスクの情報を取得する
- 6.2 特定のタスクの情報を取得する
- 6.3 サブタスクの情報を取得する

6.1 タスクの情報を取得する

指定された状態または種別のタスクを取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET `http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Tasks?status=タスクステータス&type=タスクタイプ`

クエリーパラメーターに指定できる値を次の表に示します。

パラメーター	説明
status	タスクの状態を指定します。指定を省略した場合は、デフォルトで実行されます。 <ul style="list-style-type: none">All (デフォルト)WaitingInProgress: 'In%20Progress'でも可。(クォーテーションはつけない)CanceledCompletedFailed
type	タスクを登録した管理クライアントの種別を指定します。指定を省略した場合は、デフォルトで実行されます。 <ul style="list-style-type: none">GUICLI (デフォルト)

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

TaskExecutionInfo

```
{
  "TaskExecutionInfo": [{
    "taskID": "...",
    "taskName": "...",
    "status": "...",
    "taskType": "..."
  }],
  ...
}
```

属性	データ型	数	説明
taskID	string	1	タスクユニークキー。タスクを特定する識別子。

属性	データ型	数	説明
taskName	string	1	ユーザーが付けたタスクの名前。
status	string	1	タスクの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • Waiting • In Progress • Canceled • Completed • Failed
taskType	string	1	タスクの種類。 <ul style="list-style-type: none"> • Unknown • Discovery • Host Refresh • Host Import • Shutdown OS • Reboot OS • Power On • Force Power Off • Power Reset • VM Power On • VM Force Power Off • VM Power Reset • Server Power On • Server Force Power Off • Server Power Reset • LID On • LID Off • Start Power Capping • Stop Power Capping • Start Power Capping Rack • Stop Power Capping Rack • Failover To Standby Blade(Auto) • Failover To Standby Blade • Failback To Active Blade • Test N+M Cold Standby • Reassignment Of Standby Blade • Blade Health Check • Automated Blade Health Check • Assignment Restoration • Synchronize Status For Failover • Synchronize Status For Failback • Deployment - Back up • Deployment - Snapshot • Deployment - Restore • Deployment - Check Disk Configuration • Delete Image File

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> • Deployment - Deploy • Deployment - Remove Resource • Deployment - Add Resource • Deployment - Edit Settings • Resource Refresh • Resource Auto Refresh • Resource Status Refresh • Virtualization Refresh • Blade Refresh • Chassis Refresh • Rack Refresh • Server Refresh • Chassis Power Refresh • Server Power Refresh • Host Performance Refresh • Rack Power Refresh • Hypervisor Refresh • Update Firmware • HVM Shutdown • HVM Restart • LPAR Activate • LPAR Deactivate • LPAR Reactivate • USB Unassign from LPAR • USB Assign to LPAR • Create LPAR • Edit LPAR • Delete LPARs • Quick Create Multiple LPARs • Edit LPAR Shared FC Settings • Edit LPAR Dedicated FC Settings • Edit LPAR Dedicated NIC Settings • Edit LPAR Virtual NIC Settings • Edit LPAR Settings • Configure HVM • Specify LPAR USB Auto Assignment • Edit LPAR USB Settings • Edit LPAR Memory Settings • Edit LPAR CPU Settings • Save HVM Configuration • Edit HVM Advanced Settings • Migrate LPAR - Verify Compatibility • Migrate LPAR • Cold Migrate LPAR - Verify Compatibility

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> • Cold Migrate LPAR • Recover From Failed Migration • VM Refresh • LPAR Refresh • Edit LPAR Boot Order Settings

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	未定義の status が指定されました。
400	2010	100	クエリーパラメーターの type に指定した値が不正です。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	103	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

6.2 特定のタスクの情報を取得する

taskID で指定されたタスクの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/Tasks/<taskID >

taskID:

タスクユニークキー。タスクを特定する識別子。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

TaskExecutionInfo

```
{
  "TaskExecutionInfo": [{
    "taskID": "...",
    "taskName": "...",
    "status": "...",
    "taskType": "..."
  }]
}
```

属性	データ型	数	説明
taskID	string	1	タスクユニークキー。タスクを特定する識別子。
taskName	string	1	ユーザーが付けたタスクの名前。
status	string	1	タスクの状態。 <ul style="list-style-type: none">• Waiting• In Progress• Canceled• Completed• Failed
taskType	string	1	タスクの種類。 <ul style="list-style-type: none">• Unknown• Discovery• Host Refresh• Host Import• Shutdown OS• Reboot OS• Power On• Force Power Off• Power Reset• VM Power On• VM Force Power Off• VM Power Reset• Server Power On• Server Force Power Off• Server Power Reset

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> • LID On • LID Off • Start Power Capping • Stop Power Capping • Start Power Capping Rack • Stop Power Capping Rack • Failover To Standby Blade(Auto) • Failover To Standby Blade • Failback To Active Blade • Test N+M Cold Standby • Reassignment Of Standby Blade • Blade Health Check • Automated Blade Health Check • Assignment Restoration • Synchronize Status For Failover • Synchronize Status For Failback • Deployment - Back up • Deployment - Snapshot • Deployment - Restore • Deployment - Check Disk Configuration • Delete Image File • Deployment - Deploy • Deployment - Remove Resource • Deployment - Add Resource • Deployment - Edit Settings • Resource Refresh • Resource Auto Refresh • Resource Status Refresh • Virtualization Refresh • Blade Refresh • Chassis Refresh • Rack Refresh • Server Refresh • Chassis Power Refresh • Server Power Refresh • Host Performance Refresh • Rack Power Refresh • Hypervisor Refresh • Update Firmware • HVM Shutdown • HVM Restart • LPAR Activate • LPAR Deactivate • LPAR Reactivate

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> • USB Unassign from LPAR • USB Assign to LPAR • Create LPAR • Edit LPAR • Delete LPARs • Quick Create Multiple LPARs • Edit LPAR Shared FC Settings • Edit LPAR Dedicated FC Settings • Edit LPAR Dedicated NIC Settings • Edit LPAR Virtual NIC Settings • Edit LPAR Settings • Configure HVM • Specify LPAR USB Auto Assignment • Edit LPAR USB Settings • Edit LPAR Memory Settings • Edit LPAR CPU Settings • Save HVM Configuration • Edit HVM Advanced Settings • Migrate LPAR - Verify Compatibility • Migrate LPAR • Cold Migrate LPAR - Verify Compatibility • Cold Migrate LPAR • Recover From Failed Migration • VM Refresh • LPAR Refresh • Edit LPAR Boot Order Settings

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した taskID はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	103	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

6.3 サブタスクの情報を取得する

taskID で指定したタスクのサブタスクの情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Tasks/<taskID>/collections/Subtask

taskID:

タスクユニークキー。タスクを特定する識別子。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

SubTaskExecutionInfo

```
{
  "SubTaskExecutionInfo": [{
    "status": "...",
    "progress": ...,
    "errorMessageId": "...",
    "errorMessage": "...",
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
status	string	1	タスク状態。 • Waiting

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> In Progress Canceled Completed Failed Skipped
progress	integer	1	サブタスク進捗状況 (0~100%)。
errorMessageId	string	1	Compute Systems Manager で定義しているメッセージ ID。status が'Failed'でなければ、空文字列です。 例: 'KASV31448'
errorMessage	string	1	Compute Systems Manager で定義しているメッセージの説明。status が'Failed'でなければ、空文字列です。 例: 'Firmware Update failed due to network error.'

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した taskID はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
500	3000	103	内部エラーが発生しました。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

7

認証情報

この章では、認証情報の取得・更新に関する API について説明します。

- 7.1 認証情報を取得する
- 7.2 認証情報を作成する
- 7.3 特定の認証情報を取得する
- 7.4 認証情報を編集する
- 7.5 認証情報を削除する

7.1 認証情報を取得する

特定のプロトコルタイプ、またはすべての認証情報を取得します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Credentials?protocolType=プロトコルタイプ

クエリーパラメーターに指定できる値を次の表に示します。

パラメーター	説明
protocolType	取得する認証情報のプロトコルタイプを指定します。指定しない場合はすべての認証情報を取得します。 <ul style="list-style-type: none">WMISSHVMWARESVP

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Credential

```
{
  "Credential": [{
    "instanceID": "...",
    "protocolType": "...",
    "credentialName": "...",
    "description": "...",
    "userID": "...",
    "emptyPassword": "...",
    "password": "...",
    "portNo": ...,
    "userPassword": "...",
    "suPassword": "...",
    "domainName": "...",
    "defaultAuthorization": "...",
    "defaultPort": "...",
    "discoverHyperV": "...",
  },
  :
  ]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	1	Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

属性	データ型	数	説明
protocolType	string	1	管理対象に対応した値。 <ul style="list-style-type: none"> WMI: Windows ホストを管理する場合に使用する認証情報。 SSH: Linux ホストを管理する場合に使用する認証情報。 VMWARE: VMware ESXi を管理する場合に使用する認証情報。 SVP: ブレードサーバまたはラックマウントサーバを管理する場合に使用する認証情報。
credentialName	string	1	認証情報名 (1~32 バイト)。
description	string	1	認証情報の説明 (0~500 バイト)。
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID。
emptyPassword	string	1	パスワードを指定するかどうか。protocolType が 'WMI' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable: パスワードを指定します。 Enable: パスワードを指定しません。
password	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列。protocolType が 'SVP' 以外の場合は空文字列。
portNo	integer	1	ポート番号。
userPassword	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードの文字列は 1~256 バイト)。protocolType が 'SVP' の場合は空文字列。
suPassword	string	1	root ユーザーのパスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードの文字列は 1~256 バイト)。protocolType が 'SSH' 以外の場合は空文字列。
domainName	string	1	ドメイン名。protocolType が 'WMI' 以外の場合は空文字列。
defaultAuthorization	string	1	ブレードサーバまたはラックマウントサーバへの接続にデフォルトのユーザー ID とパスワードを使用するかどうか。resourceType が 'SVP' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable: 指定したユーザー ID とパスワードを使用します。 Enable: デフォルトのユーザー ID とパスワードを使用します。
defaultPort	string	1	ブレードサーバまたはラックマウントサーバへの接続にデフォルトポートを使用するかどうか。resourceType が 'SVP' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable: 指定したポートを使用します。 Enable: デフォルトポートを使用します。
discoverHyperV	string	1	Hyper-V を探索対象にするかどうか。resourceType が 'WMI' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable: Hyper-V を探索対象にしません。 Enable: Hyper-V を探索対象にします。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

7.2 認証情報を作成する

新しい認証情報を作成します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

```
POST http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/  
Credentials
```

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Credential

```
{  
  "protocolType": "...",  
  "credentialName": "...",  
  "description": "...",  
  "wmiCredential": {  
    "emptyPassword": "...",  
  }  
}
```

```

        "userID": "...",
        "userPassword": "...",
        "domainName": "...",
        "discoverHyperV": "...",
        "portNo": ...
    },
    "sshCredential": {
        "userID": "...",
        "userPassword": "...",
        "suPassword": "...",
        "portNo": ...
    },
    "vmwareCredential": {
        "userID": "...",
        "userPassword": "..."
    },
    "svpCredential": {
        "defaultAuthorization": "...",
        "userID": "...",
        "password": "...",
        "defaultPort": "...",
        "portNo": ...
    }
}

```

属性	データ型	数	説明
protocolType	string	1	管理対象に対応した値。 <ul style="list-style-type: none"> WMI: Windows ホストを管理する場合に使用する認証情報。 SSH: Linux ホストを管理する場合に使用する認証情報。 VMWARE: VMware ESXi を管理する場合に使用する認証情報。 SVP: ブレードサーバまたはラックマウントサーバを管理する場合に使用する認証情報。
credentialName	string	0~1	認証情報名 (1~32 バイト)。
description	string	0~1	認証情報の説明 (0~500 バイト)。
wmiCredential	WmiCredential	0~1	Windows ホストへの接続に使用する認証情報。protocolType が 'WMI' の場合に必要。それ以外の場合は無効。
sshCredential	SshCredential	0~1	Linux ホストへの接続に使用する認証情報。protocolType が 'SSH' の場合に必要。それ以外の場合は無効。
vmwareCredential	VmWareCredential	0~1	VMWare ESXi への接続に使用する認証情報。protocolType が 'VMWARE' の場合に必要。それ以外の場合は無効。
svpCredential	SvpCredential	0~1	ブレードサーバまたはラックマウントサーバへの接続に使用する認証情報。protocolType が 'SVP' の場合に必要。それ以外の場合は無効。

wmiCredential

属性	データ型	数	説明
emptyPassword	string	1	パスワードを指定するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable: パスワードを指定します。 Enable: パスワードを指定しません。
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID (1~32 バイト)。

属性	データ型	数	説明
userPassword	string	0～1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列（エンコードする前の文字列は 1～256 バイト）。emptyPassword が 'Disable' の場合に必要です。
domainName	string	0～1	ドメイン名（1～255 バイト）。
discoverHyperV	string	0～1	Hyper-V を探索対象にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : Hyper-V を探索対象にしません。（デフォルト） Enable : Hyper-V を探索対象にします。
portNo	integer	0～1	ポート番号（1～65535）。Compute Systems Manager が Linux 版の場合に有効。そうでなければ無効。デフォルトの値は 5985 です。

sshCredential

属性	データ型	数	説明
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID（1～32 バイト）。
userPassword	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列（エンコードする前の文字列は 1～256 バイト）。
suPassword	string	0～1	root ユーザーのパスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列（エンコードする前の文字列は 1～256 バイト）。
portNo	integer	1	SSH プロトコルで使用するポート番号（0～65535）。

vmwareCredential

属性	データ型	数	説明
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID（1～32 バイト）。
userPassword	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列（エンコードする前の文字列は 1～256 バイト）。

svpCredential

属性	データ型	数	説明
defaultAuthorization	string	1	接続に、デフォルトのユーザー ID とパスワードを使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : 指定したユーザー ID とパスワードを使用します。 Enable : デフォルトのユーザー ID とパスワードを使用します。
userID	string	0～1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID（1～32 バイト）。defaultAuthorization が 'Disable' の場合に必要。
password	string	0～1	パスワードを base64 でエンコードした文字列（エンコードする前の文字列は 1～256 バイト）。defaultAuthorization が 'Disable' の場合に必要。
defaultPort	string	1	接続にデフォルトポートを使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : 指定したポートを使用します。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Enable : デフォルトポートを使用します。
portNo	integer	0~1	ポート番号 (0~35535)。defaultPort が'Disable'の場合に示します。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	作成した認証情報の instanceID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
201	0	0	正常終了。
400	2010	1	credentialName に無効な値を指定しました。
400	2010	2	description に無効な値を指定しました。
400	2010	3	protocolType を指定していません。
400	2010	4	protocolType に無効な値を指定しました。
400	2010	5	protocolType に対応した認証情報は指定されません。
400	2010	10	protocolType に'SVP'を指定する場合は、defaultAuthorization も指定する必要があります。
400	2010	11	defaultAuthorization に無効な値を指定しました。
400	2010	12	protocolType に'WMI'または'SSH'または'VMWARE'を指定する場合は、userID も指定する必要があります。protocolType に'SVP', defaultAuthorization に'Disable'を指定する場合は、userID も指定する必要があります。
400	2010	13	userID に無効な値を指定しました。
400	2010	14	protocolType に'SVP', defaultAuthorization に'Disable'を指定する場合は、password も指定する必要があります。
400	2010	15	password に無効な値を指定しました。
400	2010	16	protocolType に'WMI'を指定する場合は、emptyPassword も指定する必要があります。
400	2010	17	emptyPassword に無効な値を指定しました。
400	2010	18	protocolType に'WMI', emptyPassword に'Disable'を指定する場合は、userPassword も指定する必要があります。protocolType に'SSH'または'VMWARE'を指定

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
			する場合は、userPassword も指定する必要があります。
400	2010	19	userPassword に無効な値を指定しました。
400	2010	20	protocolType に'SVP'を指定する場合は、defaultPort も指定する必要があります。
400	2010	21	defaultPort に無効な値を指定しました。
400	2010	22	protocolType に'SSH'を指定する場合は、portNo も指定する必要があります。protocolType に'SVP', defaultPort に'Disable'を指定する場合は、portNo も指定する必要があります。
400	2010	23	portNo に無効な値を指定しました。
400	2010	24	domainName に無効な値を指定しました。
400	2010	25	discoverHyperV に無効な値を指定しました。
400	2010	26	suPassword に無効な値を指定しました。
400	2010	100	リクエストボディが指定されていません。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	2	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。または、ライセンスが無効です。日本語バージョンの場合、vmwareCredential を追加するか discoverHyperV を'Enable'にして再実行してください。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2013	1	指定した credentialName は Compute Systems Manager ですすでに使用済みです。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

7.3 特定の認証情報を取得する

instanceID に指定した認証情報を取得します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Credentials/<instanceID>

instanceID:

Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Credential

```
{
  "Credential": [{
    "instanceID": "...",
    "protocolType": "...",
    "credentialName": "...",
    "description": "...",
    "userID": "...",
    "emptyPassword": "...",
    "password": "...",
    "portNo": ...,
    "userPassword": "...",
    "suPassword": "...",
    "domainName": "...",
    "defaultAuthorization": "...",
    "defaultPort": "...",
    "discoverHyperV": "...",
  }]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	1	Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。
protocolType	string	1	管理対象に対応した値。 <ul style="list-style-type: none"> WMI: Windows ホストを管理する場合に使用する認証情報。

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> SSH : Linux ホストを管理する場合に使用する認証情報。 VMWARE : VMware ESXi を管理する場合に使用する認証情報。 SVP : ブレードサーバまたはラックマウントサーバを管理する場合に使用する認証情報。
credentialName	string	1	認証情報名 (1~32 バイト)。
description	string	1	認証情報の説明 (0~500 バイト)。
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID。
emptyPassword	string	1	パスワードを指定するかどうか。protocolType が 'WMI' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : パスワードを指定します。 Enable : パスワードを指定しません。
password	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列。protocolType が 'SVP' 以外の場合は空文字列。
portNo	integer	1	ポート番号。
userPassword	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードの文字列は 1~256 バイト)。protocolType が 'SVP' の場合は空文字列。
suPassword	string	1	root ユーザーのパスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードの文字列は 1~256 バイト)。protocolType が 'SSH' 以外の場合は空文字列。
domainName	string	1	ドメイン名。protocolType が 'WMI' 以外の場合は空文字列。
defaultAuthorization	string	1	ブレードサーバまたはラックマウントサーバへの接続にデフォルトのユーザー ID とパスワードを使用するかどうか。resourceType が 'SVP' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : 指定したユーザー ID とパスワードを使用します。 Enable : デフォルトのユーザー ID とパスワードを使用します。
defaultPort	string	1	ブレードサーバまたはラックマウントサーバへの接続にデフォルトポートを使用するかどうか。resourceType が 'SVP' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : 指定したポートを使用します。 Enable : デフォルトポートを使用します。
discoverHyperV	string	1	Hyper-V を探索対象にするかどうか。resourceType が 'WMI' 以外の場合は空文字列。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : Hyper-V を探索対象にしません。 Enable : Hyper-V を探索対象にします。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

7.4 認証情報を編集する

instanceID に指定した認証情報を編集します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

PUT http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/Credentials/<instanceID>

instanceID:

Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

Credential

```
{
  "credentialName": "...",
  "description": "...",
  "forceChange": "...",
  "wmiCredential": {
```

```

        "emptyPassword": "...",
        "userID": "...",
        "userPassword": "...",
        "domainName": "...",
        "discoverHyperV": "...",
        "portNo": ...
    },
    "sshCredential": {
        "userID": "...",
        "userPassword": "...",
        "suPassword": "...",
        "portNo": ...
    },
    "vmwareCredential": {
        "userID": "...",
        "userPassword": "..."
    },
    "svpCredential": {
        "defaultAuthorization": "...",
        "userID": "...",
        "password": "...",
        "defaultPort": "...",
        "portNo": ...
    }
}

```

属性	データ型	数	説明
credentialName	string	0~1	認証情報名 (1~32 バイト)。
description	string	0~1	認証情報の説明 (0~500 バイト)。
forceChange	string	0~1	対象の認証情報が管理対象リソースと関連を持つ場合に、強制的に編集するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable: 認証情報が管理対象リソースと関連づいている場合は編集しません。(デフォルト) Enable: 認証情報が管理対象リソースと関連づいていても強制的に編集します。
wmiCredential	WmiCredential	0~1	Windows ホストへの接続に使用する認証情報。protocolType が 'WMI' の場合に必要。それ以外の場合は無効。
sshCredential	SshCredential	0~1	Linux ホストへの接続に使用する認証情報。protocolType が 'SSH' の場合に必要。それ以外の場合は無効。
vmwareCredential	VmWareCredential	0~1	VMWare ESXi への接続に使用する認証情報。protocolType が 'VMWARE' の場合に必要。それ以外の場合は無効。
svpCredential	SvpCredential	0~1	ブレードサーバーまたはラックマウントサーバーへの接続に使用する認証情報。protocolType が 'SVP' の場合に必要。それ以外の場合は無効。

wmiCredential

属性	データ型	数	説明
emptyPassword	string	1	パスワードを指定するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable: パスワードを指定します。 Enable: パスワードを指定しません。
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID (1~32 バイト)。
userPassword	string	0~1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードする前の文字列は 1~256 バイト)。emptyPassword が 'Disable' の場合に必要です。

属性	データ型	数	説明
domainName	string	0~1	ドメイン名 (1~255 バイト)。
discoverHyperV	string	0~1	Hyper-V を探索対象にするかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : Hyper-V を探索対象にしません。(デフォルト) Enable : Hyper-V を探索対象にします。
portNo	integer	0~1	ポート番号 (1~65535)。Compute Systems Manager が Linux 版の場合に有効。そうでなければ無効。 デフォルトの値は 5985 です。

sshCredential

属性	データ型	数	説明
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID (1~32 バイト)。
userPassword	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードする前の文字列は 1~256 バイト)。
suPassword	string	0~1	root ユーザーのパスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードする前の文字列は 1~256 バイト)。
portNo	integer	1	SSH プロトコルで使用するポート番号 (0~65535)。

vmwareCredential

属性	データ型	数	説明
userID	string	1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID (1~32 バイト)。
userPassword	string	1	パスワードの文字列を base64 でエンコードした文字列 (エンコードする前の文字列は 1~256 バイト)。

svpCredential

属性	データ型	数	説明
defaultAuthorization	string	1	接続に、デフォルトのユーザー ID とパスワードを使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : 指定したユーザー ID とパスワードを使用します。 Enable : デフォルトのユーザー ID とパスワードを使用します。
userID	string	0~1	探索するリソースにアクセスするためのユーザー ID (1~32 バイト)。defaultAuthorization が 'Disable' の場合に必要。
password	string	0~1	パスワードを base64 でエンコードした文字列 (エンコードする前の文字列は 1~256 バイト)。defaultAuthorization が 'Disable' の場合に必要。
defaultPort	string	1	接続にデフォルトポートを使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> Disable : 指定したポートを使用します。 Enable : デフォルトポートを使用します。
portNo	integer	0~1	ポート番号 (0~35535)。defaultPort が 'Disable' の場合に示します。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
    "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	編集した認証情報の instanceID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	0	0	正常終了。
400	2010	1	credentialName に無効な値を指定しました。
400	2010	2	description に無効な値を指定しました。
400	2010	3	指定された認証情報は、対象の認証情報と違います。
400	2010	4	指定した認証情報と同時に指定が必要な属性が指定されていません。
400	2010	10	defaultAuthorization に無効な値を指定しました。
400	2010	11	protocolType に'SVP', defaultAuthorization に'Disable'を指定する場合は、userID も指定する必要があります。
400	2010	12	userID に無効な値を指定しました。
400	2010	13	protocolType に'SVP', defaultAuthorization に'Disable'を指定する場合は、password も指定する必要があります。
400	2010	14	password に無効な値を指定しました。
400	2010	15	emptyPassword に無効な値を指定しました。
400	2010	16	protocolType に'WMI', emptyPassword に'Disable'を指定する場合は、userPassword も指定する必要があります。
400	2010	17	userPassword に無効な値を指定しました。
400	2010	18	defaultPort に無効な値を指定しました。
400	2010	19	protocolType に'SVP', defaultPort に'Disable'を指定する場合は、portNo も指定する必要があります。
400	2010	20	portNo に無効な値を指定しました。
400	2010	21	domainName に無効な値を指定しました。
400	2010	22	discoverHyperV に無効な値を指定しました。
400	2010	23	suPassword に無効な値を指定しました。
400	2010	24	forceChange に無効な値を指定しました。
400	2010	100	リクエストボディが指定されていません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	1003	2	論理分割の機能を使用するためのプラグインライセンスがありません。または、ライセンスが無効です。日本語バージョンの場合、vmwareCredential を編集するか discoverHyperV を 'Enable' にして再実行してください。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2013	1	指定した credentialName は Compute Systems Manager ですすでに使用済みです。
412	2150	20	指定された認証情報は幾つかのタスクで使用されているため、編集できません。
412	2150	21	指定された認証情報は幾つかの管理対象に関連づけられています、forceChange に 'Enable' が指定されていないため、編集できません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

7.5 認証情報を削除する

instanceID で指定した認証情報を削除します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

DELETE http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/
Credentials/<instanceID>

instanceID:

Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{  
    "id":...  
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	0 が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	0	0	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2150	1	指定された認証情報は幾つかのタスクで使用されているか、幾つかのリソースに関連づけられているため、削除できません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

IP アドレス範囲

この章では、IP アドレス範囲の情報取得・操作に関する API について説明します。

- 8.1 すべての IP アドレス範囲を取得する
- 8.2 IP アドレス範囲を作成する
- 8.3 特定の IP アドレス範囲を取得する
- 8.4 IP アドレス範囲を編集する
- 8.5 IP アドレス範囲を削除する
- 8.6 リソースを探索する

8.1 すべての IP アドレス範囲を取得する

指定した IP アドレスバージョン, またはすべての IP アドレス範囲を取得します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

GET `http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/IPAddressRanges?ipVersion=バージョン`

クエリーパラメーターに指定できる値を次の表に示します。

パラメーター	説明
ipVersion	取得する IP アドレス範囲の IP アドレスバージョンを指定します。指定しない場合はすべての IP アドレス範囲を取得します。 <ul style="list-style-type: none">v4v6

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddressRange

```
{
  "IPAddressRange": [{
    "instanceID": "...",
    "ipAddressRangeName": "...",
    "description": "...",
    "ipVersion": "...",
    "startIPAddress": "...",
    "endIPAddress": "...",
    "ipv6Specifiers": {
      "ipAddress": ["...", ...]
    },
    "usePing": "...",
    "credential": [{
      "instanceID": "..."
    }],
    :
  ]
},
:
]
```

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	1	Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。
ipAddressRangeName	string	1	IP アドレス範囲の名前 (1~32 バイト)。

属性	データ型	数	説明
description	string	1	IP アドレス範囲の説明。 • 0-500 byte String
ipVersion	string	1	IP アドレスバージョン。 • v4 • v6
startIpAddress	string	1	探索開始 IP アドレス（書式：IPv4 形式）。ipVersion が'v4'の場合に使用します。ipVersion が'v6'の場合は空文字列です。
endIpAddress	string	1	探索終了 IP アドレス（書式：IPv4 形式）。ipVersion が'v4'の場合に使用します。ipVersion が'v6'の場合は空文字列です。
ipv6Specifiers	IPv6Specifier	1	探索対象 IP アドレス。ipVersion が'v6'の場合に使用します。ipVersion が'v4'の場合は null です。
usePing	string	1	PING を使用するかどうか。 • Disable • Enable
credential	Credential Specifier	1~10	認証情報のリスト。

ipv6Specifiers

属性	データ型	数	説明
ipAddress	string	0~1024	探索対象の IP アドレス（書式：IPv6 形式）。

credential

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	1	関連する認証情報の instanceID。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

8.2 IP アドレス範囲を作成する

新しい IP アドレス範囲を作成します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

POST http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/IPAddressRanges

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddressRange

```
{
  "ipAddressRangeName": "...",
  "description": "...",
  "ipVersion": "...",
  "startIPAddress": "...",
  "endIPAddress": "...",
  "ipv6Specifiers": {
    "ipAddress": ["...", ...]
  },
  "usePing": "...",
  "credential": [{
    "instanceID": "..."
  }],
  :
}]
```

属性	データ型	数	説明
ipAddressRangeName	string	0~1	IP アドレス範囲の名前 (1~32 バイト)。
description	string	0~1	IP アドレス範囲の説明。 • 0-500 byte String
ipVersion	string	1	IP アドレスバージョン。 • v4 • v6

属性	データ型	数	説明
startIpAddress	string	0～1	探索開始 IP アドレス（書式：IPv4 形式）。ipVersion が'v4'の場合に使用します。ipVersion が'v6'の場合は空文字列です。
endIpAddress	string	0～1	探索終了 IP アドレス（書式：IPv4 形式）。ipVersion が'v4'の場合に使用します。ipVersion が'v6'の場合は空文字列です。
ipv6Specifiers	IPv6Specifier	0～1	探索対象 IP アドレス。ipVersion が'v6'の場合に使用します。ipVersion が'v4'の場合は null です。
usePing	string	0～1	PING を使用するかどうか。 <ul style="list-style-type: none"> • Disable • Enable
credential	Credential Specifier	0～10	認証情報のリスト。

ipv6Specifiers

属性	データ型	数	説明
ipAddress	string	0～1024	探索対象の IP アドレス（書式：IPv6 形式）。

credential

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	0～1	関連する認証情報の instanceID。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	作成した IP アドレス範囲の instanceID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
201	0	0	正常終了。
400	2010	1	ipAddressRangeName に無効な値を指定しました。
400	2010	2	description に無効な値を指定しました。
400	2010	10	ipVersion を指定していません。
400	2010	11	ipVersion に無効な値を指定しました。
400	2010	12	ipVersion に'v4'を指定する場合は、startIpAddress も指定する必要があります。
400	2010	13	startIpAddress に無効な値を指定しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
400	2010	14	ipVersion に'v4'を指定する場合は、endIPAddress も指定する必要があります。
400	2010	15	endIPAddress に無効な値を指定しました。
400	2010	16	startIPAddress と endIPAddress の間に 1024 個を超える IP アドレスが含まれています。または、startIPAddress が endIPAddress よりも小さくなっています。
400	2010	20	ipVersion に'v6'を指定する場合は、ipv6Specifiers も指定する必要があります。
400	2010	22	ipVersion に'v6'を指定したのに ipAddress を指定していないか、ipAddress に 1024 個を超える IP アドレスが含まれています。
400	2010	23	ipAddress に無効な値を指定しました。
400	2010	30	usePing に無効な値を指定しました。
400	2010	31	credential を指定していません。
400	2010	33	credential の instanceID を指定していません。 credential の instanceID は 10 個以内で指定してください。
400	2010	34	credential の instanceID に無効な値を指定しました (指定された認証情報がありません)。
400	2010	35	ipVersion に'v6'を指定する場合は、credential の instanceID には svcCredential の認証情報だけを指定します。
400	2010	100	リクエストボディが指定されていません。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2013	1	指定した ipAddressRangeName は Compute Systems Manager ですすでに使用済みです。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

8.3 特定の IP アドレス範囲を取得する

instanceID に指定した IP アドレス範囲を取得します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/IPAddressRanges/<instanceID >

instanceID:

Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddressRange

```
{
  "IPAddressRange": [{
    "instanceID": "...",
    "ipAddressRangeName": "...",
    "description": "...",
    "ipVersion": "...",
    "startIPAddress": "...",
    "endIPAddress": "...",
    "ipv6Specifiers": {
      "ipAddress": ["...", ...]
    },
    "usePing": "...",
    "credential": [{
      "instanceID": "..."
    }],
    :
  ]
}]
}
```

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	1	Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。
ipAddressRangeName	string	1	IP アドレス範囲の名前 (1~32 バイト)。
description	string	1	IP アドレス範囲の説明。 • 0-500 byte String
ipVersion	string	1	IP アドレスバージョン。 • v4 • v6
startIPAddress	string	1	探索開始 IP アドレス (書式: IPv4 形式)。ipVersion が 'v4' の場合に使用します。ipVersion が 'v6' の場合は空文字列です。
endIPAddress	string	1	探索終了 IP アドレス (書式: IPv4 形式)。ipVersion が 'v4' の場合に使用します。ipVersion が 'v6' の場合は空文字列です。
ipv6Specifiers	IPv6Specifier	1	探索対象 IP アドレス。ipVersion が 'v6' の場合に使用します。ipVersion が 'v4' の場合は null です。
usePing	string	1	PING を使用するかどうか。 • Disable • Enable
credential	Credential Specifier	1~10	認証情報のリスト。

ipv6Specifiers

属性	データ型	数	説明
ipAddress	string	0~1024	探索対象の IP アドレス (書式: IPv6 形式)。

credential

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	1	関連する認証情報の instanceID。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
204	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

8.4 IP アドレス範囲を編集する

instanceID に指定した IP アドレス範囲を編集します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

PUT http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/objects/IPAddressRanges/<instanceID >

instanceID:

Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddressRange

```
{
  "ipAddressRangeName": "...",
  "description": "...",
  "startIPAddress": "...",
  "endIPAddress": "...",
  "ipv6Specifiers": {
    "ipAddress": ["...", ...]
  },
  "usePing": "...",
  "credential": [{
    "instanceID": "..."
  }],
  :
}
```

属性	データ型	数	説明
ipAddressRangeName	string	0~1	IP アドレス範囲の名前 (1~32 バイト)。
description	string	0~1	IP アドレス範囲の説明。 • 0-500 byte String
startIPAddress	string	0~1	探索開始 IP アドレス (書式: IPv4 形式)。ipVersion が'v4'の場合に使用します。ipVersion が'v6'の場合は空文字列です。
endIPAddress	string	0~1	探索終了 IP アドレス (書式: IPv4 形式)。ipVersion が'v4'の場合に使用します。ipVersion が'v6'の場合は空文字列です。
ipv6Specifiers	IPv6Specifier	0~1	探索対象 IP アドレス。ipVersion が'v6'の場合に使用します。ipVersion が'v4'の場合は null です。
usePing	string	0~1	PING を使用するかどうか。 • Disable • Enable
credential	Credential Specifier	0~10	認証情報のリスト。

ipv6Specifiers

属性	データ型	数	説明
ipAddress	string	0~1024	探索対象の IP アドレス (書式: IPv6 形式)。

credential

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	0~1	関連する認証情報の instanceID。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	編集した IP アドレス範囲の instanceID が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
400	2010	1	ipAddressRangeName に無効な値を指定しました。
400	2010	2	description に無効な値を指定しました。
400	2010	10	endIPAddress を指定する場合は、startIPAddress も指定する必要があります。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
400	2010	11	startIPAddress を指定する場合は、endIPAddress も指定する必要があります。
400	2010	12	startIPAddress に無効な値を指定しました。
400	2010	13	endIPAddress に無効な値を指定しました。
400	2010	14	startIPAddress と endIPAddress の間に 1024 個を超える IP アドレスが含まれています。または、startIPAddress が endIPAddress よりも小さくなっています。
400	2010	21	ipv6Specifiers を指定する場合は、ipAddress も指定する必要があります。ipAddress を 1024 個以内で指定してください。
400	2010	22	ipAddress に無効な値を指定しました。
400	2010	30	usePing に無効な値を指定しました。
400	2010	32	credential を指定する場合は、credential の instanceID も指定する必要があります。
400	2010	33	credential の instanceID に無効な値を指定しました (指定された認証情報がありません)。
400	2010	34	ipVersion に 'v6' を指定する場合は、credential の instanceID には svcCredential の認証情報だけを指定します。
400	2010	35	credential の instanceID は 10 個以内です。
400	2010	100	リクエストボディが指定されていません。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2013	1	指定した ipAddressRangeName は Compute Systems Manager ですすでに使用済みです。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
412	2150	21	指定された IP アドレス範囲は探索タスクで使用されているため、編集できません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

8.5 IP アドレス範囲を削除する

instanceID で指定した IP アドレス範囲を削除します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

```
DELETE http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/IPAddressRanges/<instanceID>
```

instanceID:

Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id":...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	0 が返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2150	1	指定された IP アドレス範囲は探索タスクで使用されているため、削除できません。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

8.6 リソースを探索する

instanceID で指定した IP アドレス範囲の情報を使用してネットワーク内のリソースを探索し、管理対象に追加します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

```
PUT http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/objects/
IPAddressRanges/<instanceID>/actions/Discovery/invoke
```

instanceID:

Compute Systems Manager によって割り当てられた識別キー。

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddressRanges

```
{
  "discoveryType": "...",
```

```

"first": "...",
"unresponsive": "...",
"failed": "...",
"emailNotificationType": "...",
"schedule": "...",
"time": "...
}

```

属性	データ型	数	説明
discoveryType	string	0~1	探索種別。 <ul style="list-style-type: none"> All: ipAddressRange に指定されたすべてのリソースを探索します。 Undiscovery: ipAddressRange に指定されたリソースのうち、前回探索していないリソースを探索します。(デフォルト)
first	string	0~1	以前に探索していないリソースを探索します。 discoveryType に'Undiscovery'を指定した場合に有効。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable (デフォルト)
unresponsive	string	0~1	前回の探索で応答のなかったリソースを探索します。 discoveryType に'Undiscovery'を指定した場合に有効。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable (デフォルト)
failed	string	0~1	前回の探索で失敗したリソースを探索します。 discoveryType に'Undiscovery'を指定した場合に有効。 <ul style="list-style-type: none"> Disable Enable (デフォルト)
emailNotificationType	string	0~1	Eメール送信モード。 <ul style="list-style-type: none"> SEND: Eメールを送信します。 SEND_ONLY_DISCOVERED_RESOURCES: 新たにリソースが探索されたときだけ Eメールを送信します。 NOT_SEND: Eメールを送信しません。(デフォルト)
schedule	string	1	探索を実行するタイミング。 <ul style="list-style-type: none"> NOW: すぐに実行します。 LATER: time で指定した時間に実行します。
time	string	0~1	探索を実行する管理サーバの時刻 (書式: YYYY/MM/DD HH:MM:SS)。過去の時刻は指定できません。schedule が 'LATER'のときに有効です。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```

{
  "id": ...
}

```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	

属性	データ型	数	説明
			管理対象リソース探索のために登録されたタスクのタスクIDが返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
202	0	0	正常終了。
400	2010	1	discoveryType に無効な値を指定しました。
400	2010	2	first に無効な値を指定しました。
400	2010	3	unresponsive に無効な値を指定しました。
400	2010	4	failed に無効な値を指定しました。
400	2010	5	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	6	schedule を指定していません。
400	2010	7	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	8	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	9	time に無効な値を指定しました。
400	2010	10	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
400	2010	11	discoveryType に'Undiscovery'を指定したにも関わらず、first、unresponsive および failed のすべてに'Disable'が指定されています。
400	2010	100	リクエストボディが指定されていません。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
404	-	-	指定した instanceID または collection はありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	1	time に過去の時刻を指定しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている, またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

9

ユーザー管理

この章では、ユーザーのログインに関する API について説明します。

- [9.1 Compute Systems Manager にログインする](#)
- [9.2 Compute Systems Manager からログアウトする](#)

9.1 Compute Systems Manager にログインする

HTTP ヘッダーに登録されているユーザー ID とパスワードで Compute Systems Manager にログインします。

ロール

Admin/Modify/View/User-Management

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/services/User/actions/login/invoke

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
204	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1000	100	Basic 認証が指定されていません。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

9.2 Compute Systems Manager からログアウトする

HTTP ヘッダーに登録されているセッション ID でログアウトします。

ロール

Admin/Modify/View/User-Management

リクエストライン

GET http://<host >:<port >/ComputeSystemsManager/v1/services/User/actions/logout/invoke

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディは出力されません。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
204	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1000	101	HSSO セッション ID が指定されていません。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超過しました。

管理対象リソース

この章では、管理対象の探索に関する API について説明します。

- 10.1 複数の IP アドレス範囲を使用して管理対象を探索する

10.1 複数の IP アドレス範囲を使用して管理対象を探索する

複数の IP アドレス範囲を使用して管理対象を探索します。

ロール

All-Resources-Admin

リクエストライン

PUT `http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/services/ManagedResource/actions/Discovery/invoke`

リクエストボディ

リクエストボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

IPAddressRanges

```
{
  "ipAddressRange": [{
    "instanceID": "...",
  },
  :
  ],
  "discoveryType": "...",
  "first": "...",
  "unresponsive": "...",
  "failed": "...",
  "emailNotificationType": "...",
  "schedule": "...",
  "time": "...
}
```

属性	データ型	数	説明
ipAddressRange	InstanceID List	1~10	使用する IP アドレス範囲のインスタンス ID。
discoveryType	string	0~1	探索種別。 <ul style="list-style-type: none">All: ipAddressRange に指定されたすべてのリソースを探索します。Undiscovery: ipAddressRange に指定されたリソースのうち、前回探索していないリソースを探索します。(デフォルト)
first	string	0~1	以前に探索していないリソースを探索します。discoveryType に 'Undiscovery' を指定した場合に有効。 <ul style="list-style-type: none">DisableEnable (デフォルト)
unresponsive	string	0~1	前回の探索で応答のなかったリソースを探索します。discoveryType に 'Undiscovery' を指定した場合に有効。 <ul style="list-style-type: none">DisableEnable (デフォルト)
failed	string	0~1	前回の探索で失敗したリソースを探索します。discoveryType に 'Undiscovery' を指定した場合に有効。 <ul style="list-style-type: none">Disable

属性	データ型	数	説明
			<ul style="list-style-type: none"> Enable (デフォルト)
emailNotificationType	string	0~1	Eメール送信モード。 <ul style="list-style-type: none"> SEND: Eメールを送信します。 SEND_ONLY_DISCOVERED_RESOURCES: 新たにリソースが探索されたときだけEメールを送信します。 NOT_SEND: Eメールを送信しません。(デフォルト)
schedule	string	1	探索を実行するタイミング。 <ul style="list-style-type: none"> NOW: すぐに実行します。 LATER: time で指定した時間に実行します。
time	string	0~1	探索を実行する管理サーバの時刻 (書式: YYYY/MM/DD HH:MM:SS)。過去の時刻は指定できません。schedule が 'LATER' のときに有効です。

ipAddressRange

属性	データ型	数	説明
instanceID	string	1	Compute Systems Manager で管理している識別キー。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

ApiResponse

```
{
  "id": ...
}
```

属性	データ型	数	説明
id	integer	1	管理対象リソース探索のために登録されたタスクのタスクIDが返ります。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
202	0	0	正常終了。
400	2010	1	ipAddressRange を指定していません。
400	2010	2	ipAddressRange の instanceID に不正な値を指定しました。
400	2010	3	ipAddressRange の instanceID を指定していないか、ipAddressRange の instanceID を 10 個より多く指定しています。
400	2010	4	ipAddressRange の instanceID に指定した値が不正です (指定された IP アドレス範囲が見つかりません)。
400	2010	5	discoveryType に無効な値を指定しました。
400	2010	6	first に無効な値を指定しました。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
400	2010	7	unresponsive に無効な値を指定しました。
400	2010	8	failed に無効な値を指定しました。
400	2010	9	emailNotificationType に無効な値を指定しました。
400	2010	10	schedule を指定していません。
400	2010	11	schedule に無効な値を指定しました。
400	2010	12	schedule に'LATER'を指定する場合は、time も指定する必要があります。
400	2010	13	time に無効な値を指定しました。
400	2010	14	指定した日付は 2100 年 12 月 31 日以降です。
400	2010	15	discoveryType に'Undiscovery'を指定したにも関わらず、first、unresponsive および failed のすべてに'Disable'が指定されています。
400	2010	100	リクエストボディが指定されていません。
400	2010	101	リクエストボディの書式が無効です。JSON の書式で記述してください。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
403	2017	1	管理対象を参照する権限がありません。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
412	2018	1	time に過去の時刻を指定しました。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

バージョン情報

この章では、バージョン情報の取得に関する API について説明します。

- [11.1 Compute Systems Manager のバージョン情報を取得する](#)

11.1 Compute Systems Manager のバージョン情報を取得する

Compute Systems Manager の API のバージョン情報を取得します。

ロール

Admin/Modify/View/User-Management

リクエストライン

GET http://<host>:<port>/ComputeSystemsManager/v1/version

リクエストボディ

リクエストボディには何も設定しません。

レスポンスボディ

レスポンスボディの構造とオブジェクトの属性を次に示します。

GetVersionResponse

```
{
  "apiVersion": "...",
  "productVersion": "...",
  "minSupportedProtocolVersion": ...,
  "maxSupportedProtocolVersion": ...,
  "deprecatedProtocolVersion": ...,
  "timeStamp": "..."}

```

属性	データ型	数	説明
apiVersion	string	1	API のバージョン。
productVersion	string	1	Compute Systems Manager のバージョン。
minSupportedProtocolVersion	integer	1	サポートしている API バージョンの最小値。
maxSupportedProtocolVersion	integer	1	サポートしている API バージョンの最大値。
deprecatedProtocolVersion	integer	1	非推奨の API バージョン。
timeStamp	string	1	バージョン情報を取得した時間。

リターンコード

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
200	-	-	正常終了。
401	1000	1	HTTP ヘッダーの Authorization が指定されていません。
401	1000	2	HTTP ヘッダーの Authorization の値が不正です (Basic 認証, HSSO セッション認証のどちらでもありません)。

HTTP ステータスコード	結果コード	詳細コード	説明
401	1000	3	HTTP ヘッダーの Authorization の Basic 認証の値が不正です (認証情報のフォーマットが不正です)。
401	1000	4	ログインに失敗しました。
401	1002	1	ログインセッションが切断されました。または、不正な HSSO トークンが指定されました。
403	1003	1	基本ライセンスが登録されていない、または有効期限を過ぎています。
405	-	-	サポートされていないメソッドです。
406	2010	1	HTTP ヘッダーの Accept の値が不正です。
415	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type にサポートされていない形式が指定されています。
500	-	-	HTTP ヘッダーの Content-Type に不正な値が指定されている、またはそれ以外の内部エラーです。
500	1000	1	ログインに失敗しました (内部エラー)。
503	2020	1	要求の数が API の同時最大接続数を超えました。

Compute Systems Manager の API の使用例

この章では、Compute Systems Manager の API の使用例として、JavaScript で記述されたサンプルコードについて説明します。

サンプルコードの動作環境は Internet Explorer を前提としています。

- A.1 ブレードサーバの一覧を取得する API の使用例
- A.2 ブレードサーバの電源を ON にする API の使用例

A.1 ブレードサーバの一覧を取得する API の使用例

Compute Systems Manager が管理するすべてのブレードサーバの情報を取得し、レスポンスを解析する処理のサンプルコードを示します。ユーザー認証は Basic 認証を使用しています。

処理の概要

1. HTTP ヘッダーに認証情報や入出力データのエンコード形式などを設定します。
このサンプルでは次のユーザーでログインします。
ユーザー ID : system
パスワード : manager
Basic 認証の Authorization ヘッダーは次のように設定します。
Authorization: Basic <base64-id-password >

<base64-id-password >には、ユーザー ID とパスワードを半角コロン (:) でつないだ文字列を base64 でエンコードした値を設定します。
上記と異なるユーザーでログインする場合は、Authorization ヘッダーに設定するエンコード済みの文字列を、実際のユーザー ID とパスワードから生成した値に置き換えてください。
2. localhost の管理サーバに対して、すべてのブレードサーバの情報を取得する API を実行します。
3. 処理 2 で実行した API のレスポンスボディを解析し、ブレードサーバの属性の instanceId, serverProductName, slotNumber, serverStatus を取得します。
4. 解析した値を画面に出力します。

サンプルコード

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>HCSM REST API Sample</title>
<script type="text/javascript" lang="javascript">
    function CreateHttpRequest() {
        try {
            return new XMLHttpRequest();
        } catch (e) {
        }
        try {
            return new ActiveXObject('MSXML2.XMLHTTP.6.0');
        } catch (e) {
        }
        try {
            return new ActiveXObject('MSXML2.XMLHTTP.3.0');
        } catch (e) {
        }
        try {
            return new ActiveXObject('MSXML2.XMLHTTP');
        } catch (e) {
        }

        return null;
    }

    /**
     * Set the request header to call HCSM API
     */
    function setHeader(req) {

        // In the Authorization header of the request,
        // specify the word Basic, followed by a base64-encoded string
        // that encodes the user name and password separated by a colon.
```



```

        req.setRequestHeader("Authorization", "Basic
c3lzdGVtOmlhbmFnZXI=");
        req.setRequestHeader('Accept', 'application/json');
        req.setRequestHeader('Content-Type', 'application/json;
charset=UTF-8');
        return req;
    }

    /**
     * Send request (HTTP GET)
     */
    function sendGetRequest(url) {
        var req = new CreateHttpRequest();
        req.open("GET", url, false);
        setHeader(req);
        req.send(null);
        return req;
    }

    /**
     * Parse blade information (JSON)
     */
    function parseBlades(res) {
        // parse response
        var jsonObj = JSON.parse(res);
        var servers = jsonObj.Server;

        var data = "";

        for (i = 0; i < servers.length; i++) {
            var serverData = "#"
                + i
                + "¥t instanceId="
                + servers[i].instanceId
                + ", serverProductName="
                + servers[i].serverProductName
                + ", slotNumber="
                + servers[i].slotNumber
                + ", serverStatus="
                + servers[i].serverStatus
                + "<br>";
            data = data
                + serverData;
        }

        // display a result
        document.getElementById("after").innerHTML = data;
    }

    /**
     * Parse error response
     */
    function parseErrorResponse(req) {
        var statusCode = req.status;
        var statusText = req.statusText;
        var errorCode;
        var detailCode;
        var resformat = req.getResponseHeader("Content-Type");
        if (req.responseText != null
            && resformat == "application/json") {
            var jsonObj = JSON.parse(req.responseText);
            errorCode = jsonObj.resultCode;
            detailCode = jsonObj.detailCode;
        }

        document.getElementById("after").innerHTML = "HTTP status : "
            + statusCode
            + " "
            + statusText
            + "¥nerrorCode : "
            + errorCode
            + "¥ndetailCode : "
            + detailCode;
    }

```

```

    }

    /**
     * Obtain information for all blade servers
     */
    function GetBlades() {
        try {
            // execute HCSM REST API
            var uri = "http://localhost:22015/ComputeSystemsManager/v1/objects/Blades";
            var req = sendGetRequest(uri);

            if (req.status == 200) {
                // success
                parseBlades(req.responseText);
            } else if (req.status == 204) {
                // success (no content)
                document.getElementById("after").innerHTML = req.status
                    + " "
                    + req.statusText;
            } else {
                // error
                parseErrorResponse(req);
            }

        } catch (err) {
            alert(err.description);
        }
    }
}
</script>
</head>
<body onload="GetBlades()">
    Obtain some attributes from the information of all blade servers
    <br>
    <hr>
    <div id="after"></div>
</body>

```

サンプルコードの実行結果例

```

#0 instanceId=SG10YWN0aV8wX0RNWV9CTF9Tl8wMTAxMDEwMV8wMA==,
serverProductName=BladeSymphony 520AA1, slotNumber=0,
serverStatus=Running
#1 instanceId=SG10YWN0aV8wX0RNWV9CTF9Tl8wMTAxMDEwMV8wMQ==,
serverProductName=BladeSymphony 520AA1, slotNumber=1,
serverStatus=Running
#2 instanceId=SG10YWN0aV8wX0RNWV9CTF9Tl8wMTAxMDEwMV8wMg==,
serverProductName=BladeSymphony 520AA1, slotNumber=2,3,
serverStatus=Running
#3 instanceId=SG10YWN0aV8wX0RNWV9CTF9Tl8wMTAxMDEwMV8wNA==,
serverProductName=BladeSymphony 520HA1, slotNumber=4,
serverStatus=Running
#4 instanceId=SG10YWN0aV8wX0RNWV9CTF9Tl8wMTAxMDEwMV8wNQ==,
serverProductName=BladeSymphony 520AA1, slotNumber=5,
serverStatus=Running

```

A.2 ブレードサーバの電源を ON にする API の使用例

Compute Systems Manager が管理する特定のブレードサーバの電源を ON にするタスクを登録し、タスクの終了を確認する処理のサンプルコードを示します。ユーザー認証は Basic 認証を使用しています。

処理の概要

1. HTTP ヘッダーに認証情報や入出力データのエンコード形式などを設定します。
このサンプルでは次のユーザーでログインします。
ユーザー ID : system

パスワード: manager

Basic 認証の Authorization ヘッダーは次のように設定します。

Authorization: Basic <base64-id-password >

<base64-id-password >には、ユーザー ID とパスワードを半角コロン (:) でつないだ文字列を base64 でエンコードした値を設定します。

上記と異なるユーザーでログインする場合は、Authorization ヘッダーに設定するエンコード済みの文字列を、実際のユーザー ID とパスワードから生成した値に置き換えてください。

- localhost の管理サーバに対して、すべてのブレードサーバの情報を取得する API を実行します。
- 処理 2 で実行した API のレスポンスボディを解析し、ブレードサーバの一覧から最初のブレードサーバの instanceId を取得します。
- 処理 3 で取得したブレードサーバの電源を ON にする API を実行します。
- 処理 4 で実行した API のレスポンスボディを解析し taskID を取得します。
- 処理 5 で取得した taskID のタスクの情報を取得する API を、タスクが終了する（タスクの状態が Completed, Canceled, Failed または Skipped になる）まで繰り返し実行します。
- 電源を ON にするブレードサーバの情報、およびタスクの結果を画面に表示します。

サンプルコード

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="UTF-8">
<title>HCMS REST API Sample</title>
<script type="text/javascript" lang="javascript">
    function CreateHttpRequest() {
        try {
            return new XMLHttpRequest();
        } catch (e) {
        }
        try {
            return new ActiveXObject('MSXML2.XMLHTTP.6.0');
        } catch (e) {
        }
        try {
            return new ActiveXObject('MSXML2.XMLHTTP.3.0');
        } catch (e) {
        }
        try {
            return new ActiveXObject('MSXML2.XMLHTTP');
        } catch (e) {
        }

        return null;
    }

    /**
     * Set the request header to call HCMS API
     */
    function setHeader(req) {

        // In the Authorization header of the request,
        // specify the word Basic, followed by a base64-encoded string
        // that encodes the user name and password separated by a colon.
        req.setRequestHeader("Authorization", "Basic
c3lzdGVtOmlhbmFnZXI=");
        req.setRequestHeader('Accept', 'application/json');
        req.setRequestHeader('Content-Type', 'application/json;
charset=UTF-8');
        return req;
    }

    /**
```

```

    * Send request (HTTP GET)
    */
function sendGetRequest(url) {
    var req = new CreateHttpRequest();
    req.open("GET", url, false);
    setHeader(req);
    req.send(null);
    return req;
}

/**
 * Send request (HTTP PUT)
 */
function sendPutRequest(url, body) {
    var req = new CreateHttpRequest();
    req.open("PUT", url, false);
    setHeader(req);
    req.send(body);
    return req;
}

/**
 * Obtain instance ID of the first blade from the list of blades
 */
function getFirstBlade() {
    // Obtain information for all blade servers
    var uri = "http://localhost:22015/ComputeSystemsManager/v1/
objects/Blades";
    var req = sendGetRequest(uri);

    var instanceId = null;
    if (req.status == 200) { // success
        var jsonObj = JSON.parse(req.responseText);
        var servers = jsonObj.Server;

        // Obtain instance ID of the first blade from the list of
blades
        instanceId = servers[0].instanceId;

        document.getElementById("targetblade").innerHTML =
"instanceId="
            + instanceId
            + "<br>serverProductName="
            + servers[0].serverProductName
            + "<br>slotNumber="
            + servers[0].slotNumber
            + "<br>serverStatus="
            + servers[0].serverStatus;
    } else if (req.status == 204) { // no content
        document.getElementById("targetblade").innerHTML = req.status
            + " "
            + req.statusText;
    } else { // failed
        document.getElementById("targetblade").innerHTML = req.status
            + " "
            + req.statusText
            + "<br>"
            + req.responseText;
    }
    return instanceId;
}

/**
 * Wait for task completed
 */
function waitForTaskCompleted(taskid) {
    var status = "error"

    // Obtains information for the task with the specified taskID
until a task is completed.
    var hoge = setInterval(function() {
        try {

```

```

taskID // Obtains information for the task with the specified
var uri = "http://localhost:22015/
ComputeSystemsManager/v1/objects/Tasks/"
+ taskid;
var req = sendGetRequest(uri);

if (req.status == 200) { // success
var jsonObj = JSON.parse(req.responseText);
var taskExecutionInfoList =
jsonObj.TaskExecutionInfo;
var taskExecutionInfo = taskExecutionInfoList[0];
var taskName = taskExecutionInfo.taskName;
status = taskExecutionInfo.status;
if (taskExecutionInfo.status == "Canceled"
|| taskExecutionInfo.status == "Completed"
|| taskExecutionInfo.status == "Failed"
|| taskExecutionInfo.status == "Skipped") {

clearInterval(hoge);
}
document.getElementById("taskRes").innerHTML =
"taskID="
+ taskid
+ ", taskName="
+ taskName
+ ", status="
+ status;

} else if (req.status == 204) { // no content
document.getElementById("taskRes").innerHTML =
req.status
+ " "
+ req.statusText;
clearInterval(hoge);
} else { // fail
document.getElementById("taskRes").innerHTML =
req.status
+ " "
+ req.statusText
+ "<br>"
+ req.responseText;
clearInterval(hoge);
}
} catch (err) {
clearInterval(hoge);
alert(err.description);
}
}, 1000);
return status;
}

/**
 * Set parameter for power on blade
 */
function PowerOnParameter(schedule, time, elapseTime, verifyLpm,
lpmElapseTime,
emailNotificationType) {
this.schedule = schedule;
this.time = time;
this.elapseTime = elapseTime;
this.verifyLpm = verifyLpm;
this.lpmElapseTime = lpmElapseTime;
this.emailNotificationType = emailNotificationType;
}

/**
 * Obtains time one minute after the current time
 */
function getTaskStartTime() {
var current = new Date();
formattedData = 'YYYY/MM/DD hh:mm:ss';
formattedData = formattedData.replace(/YYYY/g,

```

```

current.getFullYear());
    formattedData = formattedData.replace(/MM/g, ('0' +
(current.getMonth() + 1)).slice(-2));
    formattedData = formattedData.replace(/DD/g, ('0' +
current.getDate()).slice(-2));
    formattedData = formattedData.replace(/hh/g, ('0' +
current.getHours()).slice(-2));
    formattedData = formattedData.replace(/mm/g, ('0' +
(current.getMinutes() + 1)).slice(-2));
    formattedData = formattedData.replace(/ss/g, ('0' +
current.getSeconds()).slice(-2));
    return formattedData;
}

/**
 * Create Http Body
 */
function createBody() {
    // api parameter
    var schedule = "LATER"; // NOW or LATER
    var time = getTaskStartTime();
    var elapseTime = 0;
    var verifyLpm = "YES"; // YES or NO
    var lpmElapseTime = 0;
    var emailNotificationType = "NOT_SEND"; // NOT_SEND or
SEND_ONLY_TASK_FAILED or SEND

    // object -> json
    var param = new PowerOnParameter(schedule, time, elapseTime,
verifyLpm, lpmElapseTime,
    emailNotificationType);

    var body = JSON.stringify(param);
    document.getElementById("taskparam").innerHTML = body;
    return body;
}

/**
 * Power on blade
 */
function powerOnBlade() {
    try {
        // Obtain instance ID of the first blade from the list of
blades
        var instanceId = getFirstBlade();
        if (instanceId == null) {
            return;
        }

        // create HTTP Body parameter
        var body = createBody();

        // call HCSM REST API(blade power on)
        var uri = "http://localhost:22015/ComputeSystemsManager/v1/
objects/Blades/"
            + instanceId
            + "/actions/Poweron/invoke";
        var req = sendPutRequest(uri, body);

        if (req.status == 200) { // success
            var jsonObj = JSON.parse(req.responseText);
            var taskid = jsonObj.id;
            document.getElementById("taskreg").innerHTML = taskid;
            var status = waitForTaskCompleted(taskid);

        } else { // fail
            document.getElementById("taskreg").innerHTML = req.status
                + " "
                + req.statusText
                + "<br>"
                + req.responseText;
        }
    }
}

```

```

        } catch (err) {
            alert(err.description);
        }
    }
</script>
</head>
<body>
    Obtain information for all blade servers and then power on the first
    blade of the list
    <br>
    <input type="button" value="Power On" onclick="powerOnBlade()">
    <hr>
    Target blade :
    <div id="targetblade"></div>
    <hr>
    Task parameter :
    <div id="taskparam"></div>
    <hr>
    Task registration :
    <div id="taskreg"></div>
    <hr>
    Task result :
    <div id="taskRes"></div>
</body>
</html>

```

サンプルコードの実行結果例

```

Target blade :
instanceId=SGl0YWN0aV8wX0RNWV9CTF9TTl8wMTAxMDEwMV8wMA==
serverProductName=BladeSymphony 520AA1
slotNumber=0
serverStatus=Running
-----
Task parameter :
{"schedule":"LATER","time":"2016/03/01 16:49:17","elapsedTime":
0,"verifyLpm":"YES","lpmElapsedTime":0,"emailNotificationType":"NOT_SEND"}
-----
Task registration :
400000000015882
-----
Task result :
taskID=400000000015882, taskName=Power On-22, status=Completed

```


このマニュアルの参考情報

この章では、このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明します。

- [B.1 関連マニュアル](#)
- [B.2 このマニュアルでの表記](#)
- [B.3 英略語](#)
- [B.4 KB \(キロバイト\) などの単位表記について](#)

B.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager ユーザーズガイド* (3021-9-096)
- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager 導入・設定ガイド* (3021-9-097)
- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager CLI リファレンスガイド* (3021-9-099)
- *Hitachi Command Suite Compute Systems Manager メッセージ* (3021-9-100)

B.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名を次のように表記しています。

表記	製品名
Linux	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">• Oracle Enterprise Linux®• Oracle Linux®• Red Hat Enterprise Linux®• SUSE Linux® Enterprise Server
VMware ESXi	VMware vSphere® ESXi™

B.3 英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
API	Application Programming Interface
BMC	Baseboard Management Controller
CLI	Command Line Interface
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
EFI	Extensible Firmware Interface
FC	Fibre Channel
FCoE	Fibre Channel over Ethernet
GUI	Graphical User Interface
HBA	Host Bus Adapter
HVM	Hitachi Virtualization Manager
I/O	Input/Output
JSON	JavaScript Object Notation
LPAR	Logical PARTition
MAC	Media Access Control
NIC	Network Interface Card
NTP	Network Time Protocol

英略語	英字での表記
NUMA	Non-Uniform Memory Access
PCI	Peripheral Component Interconnect
SMP	Symmetrical Multi Processing
SMT	Simultaneous MultiThreading
SR-IOV	Single Root I/O Virtualization
SSH	Secure SHell
SSL	Secure Sockets Layer
SVP	SerVice Processor
UEFI	Unified Extensible Firmware Interface
URI	Uniform Resource Identifier
UUID	Universally Unique Identifier
VF	Virtual Function
VM	Virtual Machine
VNIC	Virtual Network Interface Card
WMI	Windows Management Instrumentation
WWN	World Wide Name
WWNN	World Wide Node Name
WWPN	World Wide Port Name

B.4 KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト、1,024² バイト、1,024³ バイト、1,024⁴ バイトです。

